

roxio® toast[®] 14 TITANIUM



ユーザーガイド

目次

1

スタートガイド 1

ソフトウェアのインストール.....	2
Toast スタートガイド	3
Toast メインウインドウ.....	4
Toast でディスクに書きこむ	7
ビデオを変換する.....	9
最適なプロジェクトを選択する	10
ディスクについて.....	11
メディアブラウザの使用	13
レコーダ設定の変更.....	15
Toast プロジェクトの保存と開始	17
ディスクの消去	18
ディスクの取り出し.....	19
Toast Extras	19
テクニカルサポート オプション	21

2

ビデオディスクの作成 23

ビデオディスクの種類.....	24
ビデオディスク作成の概要.....	25
DVD および BD ビデオディスクの作成.....	27
Plug & Burn の使用.....	37
VIDEO_TS フォルダからの DVD の作成.....	46
VIDEO_TS コンピレーションの作成.....	50
BDMV フォルダディスクの作成.....	51
AVCHD アーカイブの作成.....	52
ビデオを編集.....	53

3

その他の Toast の機能の利用 57

ディスクイメージの保存.....	58
ディスクイメージのマウント.....	59
ファイルまたはフォルダの比較.....	60
テンポラリパーティションの作成.....	61

4

データディスクの作成 63

データディスクとは.....	64
データディスクの種類.....	64
データディスク作成の概要.....	65
複数のレコーダにプロジェクトを書き込む...66	
Mac 専用ディスクの作成.....	68
Mac と PC ディスクの作成.....	75

DVD-ROM ディスクの作成.....	80
カスタムハイブリッドディスクの作成.....	81
Mac ボリュームディスクの作成.....	83
写真ディスクの作成.....	85
Toast Dynamic Writing の使用.....	87

5

オーディオディスクの作成 89

オーディオディスクとは.....	90
オーディオディスクの種類.....	90
オーディオディスク作成の概要.....	91
オーディオ CD の作成.....	92
ミュージック DVD の作成.....	96
MP3 ディスクの作成.....	102
エンハンスド CD の作成.....	103
ミックスモード CD の作成.....	105

6

ディスクのコピー 107

コピーの種類.....	108
コピー作成の概要.....	108
ディスクのコピー.....	109
ディスクイメージファイルのコピー.....	111
ディスクイメージのマージ.....	112

7

メディアの変換 113

オーディオとビデオを変換する理由？	114
DVD-Video コンテンツを変換	115
変換オプションの変更	116
ビデオファイルの変換	117
カスタムプロファイルを作成	120
VideoBoost	121
ビデオ変換の一時停止 / 再開	122
オーディオファイルの変換	123
オーディオブックの変換	124
索引	127

スタートガイド

章内セクション

はじめに	2
ソフトウェアのインストール	2
Toast メインウインドウ	4
Toast でディスクに書きこむ	7
ビデオを変換する	9
最適なプロジェクトを選択する	10
メディアブラウザの使用	13
レコーダ設定の変更	15
Toast プロジェクトの保存と開始	17
ディスクの消去	18
ディスクの取り出し	19
Toast Extras	19
テクニカルサポート オプション	21

はじめに

Toast® は栄えある賞を受賞したディスク書き込みなど多彩な機能を備えています。書き込み、再生、視聴、共有に必要なツールをすべてパック。感動と興奮のデジタルライフはあなたの指先から始まります。

本ガイドでは、Toast Titanium でプロジェクトを書き込む際に必要な情報を提供します。本書で取り上げる特徴や機能は、一般的な Toast Titanium 製品のフル機能版に基づいています。フル機能が装備されていないバージョンもあります。制限付きバージョンをお使いの場合は、ソフトウェアにその旨のメッセージが入っています。また、この製品の Pro バージョンをお使いの場合は、さらに他の機能の利用が可能です。詳細については、3 ページの「インストールされた追加ソフトウェア」を参照してください。

ソフトウェアを登録するには、「ヘルプ」>「オンライン登録」を選択します。

詳細については、「ヘルプ」>「サポート」を選択してください。

ソフトウェアのインストール

Toast を使用するには、以下のハードウェアおよびソフトウェアが必要となります。

- Intel® プロセッサ搭載 Mac® コンピュータ
- 1 GB RAM (Pro には 2 GB RAM を推奨)
- Mac OS® X 10.7、10.9、10.10、および Mac OS 10.8 の一部機能
- すべてのコンポーネントのインストールには約 1 GB (Pro の場合は 5 GB) の空き領域が必要です
- VideoBoost が最適なパフォーマンスを実現するには互換性のある NVIDIA® カードと 4 GB の RAM が必要です
- インストールに必要な DVD ドライブ
- ビデオチュートリアル、OS 互換性、その他の製品アップデートおよび機能については、インターネット接続環境が必要です。

iTunes、iPhoto、iMovie は最新バージョンのご使用をお奨めします。

ソフトウェアをインストールするには：

- 1 Double-click on the downloaded ダウンロードされた.DMG ファイルをダブルクリックするか、インストール DVD をドライブに挿入します。
Roxio® Toast® ウィンドウがデスクトップに表示されます。
- 2 Toast インストーラをダブルクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。
- 4 ハードディスクのアプリケーションフォルダの Toast フォルダをブラウズします。Toast アイコンの他、インストールされたオプションコンポーネントがあります。
- 5 Toast 11 アイコンをダブルクリックし、画面に表示される指示に従って、Toast の最初の設定を行います。

インストールされた追加ソフトウェア

Toast Pro エディションをご購入の場合、インストールには、追加ソフトウェアが含まれた Pro Apps フォルダが付属しています。詳細については、19 ページの「*Toast Extras*」を参照してください。

Toast スタートガイド

Toast を初めて起動すると、Toast アシスタントが開きます。アシスタントは、プロジェクトを開く場合に使用します。

操作を開始するには：

- 1 プロジェクトカテゴリを選択します：
 - **データ：**アーカイブ化、またはバックアップを目的として、ディスクにファイルやフォルダを収めます。Mac、PC、その他のコンピュータで使用できます。63 ページの「*データディスクの作成*」、または 85 ページの「*写真ディスクの作成*」を参照してください。

- **オーディオ**：コンピュータ、ホームステレオやカーステレオ、あるいはセットトップ DVD プレーヤ用に、オーディオ CD、音楽 DVD、または MP3 ディスクを作成します。89 ページの「オーディオディスクの作成」を参照してください。
 - **ビデオ**：コンピュータ、またはセットトッププレーヤで使える DVD-Video ディスク、Blu-ray、または 高解像度 DVD を作成します。23 ページの「ビデオディスクの作成」を参照してください。
 - **コピー**：保護されていない CD、DVD、Blu-ray ディスク、またはディスクイメージファイルを含むディスクをコピーします。107 ページの「ディスクのコピー」を参照してください。
 - **変換**：DVD-Video ディスクとフォルダ、オーディオとビデオファイルをその他のフォーマット、またはポータブルデバイスで使えるように変換します。直接、オンライン共有サービスに公開します。113 ページの「メディアの変換」を参照してください。
- 2 使用可能なフォーマットが表示されます。選択肢を表示させるには、ウインドウの右上にあるドロップダウンメニューをクリックして、「プロジェクトの詳細表示」を選択します。
 - 3 希望するフォーマットをダブルクリックします。正しいフォーマットが選択された状態で Toast のメインウインドウが開きます。

ウインドウの左下にある「Toast を開くと、このウインドウを表示します」オプションを無効にすると、今後はアシスタントが起動しなくなります。

Toast を操作中、ファイルメニューで「アシスタントから新規作成」を選択すると、いつでもアシスタントに戻ることができます。

Toast メインウインドウ

Toast メインウインドウには、以下のコンポーネントが含まれています。



プロジェクトカテゴリ (1)

Toast アシスタントでは、各プロジェクトカテゴリが画面の上部にレイアウトされます。

内容領域 (2)

ウィンドウの左側にある領域です。ほとんどのプロジェクトの種類では、ファイルをここにドラッグしてプロジェクトに追加します。

オプション領域 (3)

画面の右側にあるオプション領域では、現在のプロジェクトのオプションを選択できます。メディアブラウザが表示されている場合は、この領域は非表示になっています。オプション領域を表示するには、ウィンドウの右上にある「オプション」ボタンをクリックします。

容量インジケータ (4)

Toast ウィンドウの下部にある容量インジケータは、現在のプロジェクトに追加したコンテンツの容量を正確に表示します。対象ディスクに対するインジケータを計算したいメディアタイプを CD、DVD、Blu-ray から選択できます。

書き込みボタン (5)

Toast ウィンドウの右下にある赤い書き込みボタンは、ディスクの書き込みを開始するためのものです。ビデオ変換プロジェクトの場合は、このボタンによってビデオの書き出しが開始します。ボタンの名前と機能はプロジェクトによって異なります。たとえば、「変換」カテゴリの場合は「変換」ボタンとしてオーディオまたはビデオの書き出しを開始します。

メディアブラウザ (6)

メディアブラウザは、音楽、フォト、ビデオなどのファイルの参照・検索に加え、ファイルのプレビューや Toast プロジェクトへの追加を簡単に行えます。最初の起動時、このウィンドウは非表示です。メディアブラウザを表示させるには、「オプション」領域の上部にある「メディア」ボタンをクリックします。この操作によりオプションが非表示になり、メディアブラウザが表示されます。

また、「メディア」ボタンの右側にあるアイコンをクリックすると、Toast のメインウィンドウから分離させることもできます。「オプション」領域を表示したまま、メディアブラウザを使用することができます。使用可能な機能とオプションは、ソフトウェアのバージョンによって異なります。



Toast でディスクに書きこむ

このセクションでは、Toast のメインウインドウでディスクを書き込む際の基本的なプロセスについて説明します。

Toast でディスクを作成するには：

- 1 プロジェクトカテゴリを選択します。アシスタント、または Toast のメインウインドウでプロジェクトカテゴリを選択します。
 - **データ** — Mac、PC、その他のコンピュータ用として、アーカイブまたはバックアップのために任意のファイルまたはフォルダをディスクに書き込みます。63 ページの「データディスクの作成」を参照してください。

- **オーディオ** — コンピュータ、ホームステレオやカーステレオ、あるいはセットトップ DVD プレーヤー用に、オーディオ CD、音楽 DVD、または MP3 ディスクを作成します。89 ページの「オーディオディスクの作成」を参照してください。
- **ビデオ** — コンピュータ、またはセットトッププレーヤーで利用できる VCD、SVCD、DVD-Video ディスク、Blu-ray、または高解像度 DVD を作成します。23 ページの「ビデオディスクの作成」を参照してください。
- **コピー** — CD、DVD、BD、またはディスクイメージファイルをコピーします。107 ページの「ディスクのコピー」を参照してください。

2 ディスクフォーマットと設定を選択 ディスクプロジェクトとオプション設定を選択します。



- 3 内容を追加** ハードディスクまたはメディアブラウザからファイルやフォルダを内容領域にドラッグアンドドロップします。
- 4 書き込み可能なディスクを挿入。** ブランクの書き込み可能な CD、DVD、または Blu-ray Disc を挿入します。
- 5 ディスクに書き込む。** 使用したいレコーダが一覧にない場合は、Toast ウィンドウの下部にあるメニューからレコーダを選択し、赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

ヒント： Toast ウィンドウの下部で「複数のレコーダを選択」を選択して、同時に複数のディスクにプロジェクトを書き込みます。

ビデオを変換する

Toast は、ビデオファイルを各種フォーマットに変換したり、直接ビデオ共有サイトに公開することもできます。

ビデオを変換するには：

- 1 Toast アシスタントで変換プロジェクトカテゴリを選択し、ビデオファイルプロジェクトを選択します。アシスタントを使用していない場合は、Toast のメインウィンドウから選択できます。
- 2 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグして、ビデオファイルをプロジェクトに追加します。



注記：メディアブラウザで「ビデオ」をクリックし、「AVCHD ビデオカメラ」を選択すると、高解像度（AVCHD）ビデオカメラから内容を追加することができます。

- 3 画面の左下にある赤の「変換」ボタンをクリックします。
- 4 表示されたウィンドウで、ビデオのフォーマットと保存先を選択します。もっともよくつかわれるフォーマットには Apply TV、iPad、YouTube、Facebook のプロフィールが含まれます。

ヒント：Toast Titanium では、カスタムビデオプロファイルを作成できるようになりました。ビデオを書き出す場合、リストの下部にある「新規カスタムプロファイル」を選択すると、独自のカスタム書き出しプロファイルを作成し、管理することができます。

ヒント：Toast Titanium は、H.264 ビデオの書き出しを加速化する VideoBoost 技術を搭載しています。詳細については、121 ページの「VideoBoost」を参照するか www.roxio.com/toast にアクセスしてください。

最適なプロジェクトを選択する

Toast は、オーディオファイルとビデオファイルを変換し、CD、DVD、および Blu-ray Disc フォーマットでディスクを作成します。

下記に、最も一般的なプロジェクトの一部を示します。

ケース	推奨ディスクフォーマット
文書、写真、スプレッドシートなどの一般的なデータファイルのバックアップをとり、後から Mac 上でのみ使用する。	データ > Mac 専用。68 ページの「 <i>Mac 専用ディスクの作成</i> 」を参照してください。
一般的なデータファイルのバックアップをとり、後から Mac または PC 上で使用する。	データ > Mac & PC。75 ページの「 <i>Mac と PC ディスクの作成</i> 」を参照してください。
自分の iPhoto ライブラリ (またはその他の写真) にある写真を、友人や家族とアーカイブ化して共有する。	データ > 写真ディスク。85 ページの「 <i>写真ディスクの作成</i> 」を参照してください。
iTunes ライブラリにある音楽を、ホームステレオやカーステレオの CD プレーヤーで聞く。	オーディオ > オーディオ CD。92 ページの「 <i>オーディオ CD の作成</i> 」を参照してください。
iTunes ライブラリにある音楽を、DVD プレーヤーで聞く。	オーディオ > ミュージック DVD。96 ページの「 <i>ミュージック DVD の作成</i> 」を参照してください。
スライドショーとビデオを TV で視聴する。	ビデオ > DVD-Video。27 ページの「 <i>DVD および BD ビデオディスクの作成</i> 」を参照してください。
既存の VIDEO_TS フォルダから DVD を作成し、それがディスクに収まるように圧縮する。	ビデオ > VIDEO_TS フォルダ。46 ページの「 <i>VIDEO_TS フォルダからの DVD の作成</i> 」を参照してください。
Blu-ray Disc™ プレーヤーでの再生用に HD ビデオを標準 DVD に書き込む。	ビデオ > Blu-ray ビデオ。27 ページの「 <i>DVD および BD ビデオディスクの作成</i> 」を参照してください。

ケース	推奨ディスクフォーマット
CD、DVD、または Blu-ray ディスクを別のディスクにコピーする。	コピー > ディスクコピー。 109 ページの「ディスクのコピー」を参照してください。
Blu-ray Disc™ プレーヤで視聴する高解像度の Blu-ray ビデオディスクを作成する。	ビデオ Blu-ray ビデオ。27 ページの「DVD および BD ビデオディスクの作成」を参照してください。
YouTube または Vimeo などのオンライン共有サービスにホームビデオを公開する。	変換 > ビデオファイル。117 ページの「ビデオファイルの変換」を参照してください。
オーディオブック CD を iTunes にリッピングして、Mac や iPod で視聴できるようにする。	変換 > オーディオブック。 124 ページの「オーディオブックの変換」を参照してください。

- すべてのデータディスクフォーマットについては、64 ページの「データディスクの種類」を参照してください。
- すべてのオーディオディスクフォーマットについては、90 ページの「オーディオディスクの種類」を参照してください。
- すべてのビデオディスクフォーマットについては、24 ページの「ビデオディスクの種類」を参照してください。
- すべてのコピーフォーマットについては、108 ページの「コピーの種類」を参照してください。
- すべての変換フォーマットについては、113 ページの「メディアの変換」を参照してください。

ディスクについて

Toast は 次の CD、DVD、および Blu-ray メディア種類をサポートしています：CD、CD-RW、DVD-R/RW、DVD-R DL (デュアルレイヤー)、DVD+R/RW、DVD+R DL (ダブルレイヤー)、DVD-RAM (カートリッジレス)、BD-R/RE、BD-R/RE DL (デュアルレイヤー)。お使いのレコーダーと再生デバイスによって選択する種類は異なります。

CD メディア

CD レコーダがある場合は、ブランクの書き込み可能な CD(CD-R) メディアを使って CD を作成できます。通常、CD には 700 MB の情報を収めることができます。ほとんどの CD レコーダは、内容を消去して再利用できる書き換え可能なメディア (CD-RW) にも対応しています。CD-R と CD-RW メディアは、どちらもコンピュータで使用するディスクを作成する場合には最適ですが、ほとんどのホームステレオやカーステレオでは CD-RW を認識できないため、オーディオ CD を作成する場合は CD-R を使用する必要があります。

DVD メディア

DVD レコーダがある場合は、ブランクの書き込み可能な DVD(DVD-R または DVD+R) メディアを使って DVD を作成できます。DVD には、およそ 4.7GB の情報が入ります。DVD レコーダによっては、約 8.5 GB の情報を保存できる、書き込み可能なデュアルレイヤー DVD (DVD+R DL または DVD-R DL) に対応している機種もあります。また、一部の DVD レコーダは、内容を消去して再利用できる書き換え可能なメディア (DVD-RW または DVD+RW) に対応しています。

コンピュータで使用する DVD を作成する場合は、すべてのタイプが機能しますが、ほとんどのセットトップ DVD プレーヤーでは、一部のタイプしか認識できません。デバイスが対応しているタイプを確認するには、各 DVD プレーヤーメーカーのマニュアルを参照するか、オンラインで検索してください。

低価格な汎用ディスクを使用すると、書き込み時にエラーが発生するか、またはプレーヤーに認識されないディスクが作成されたり、再生が不安定になる恐れがあります。同じタイプでもブランドが異なる場合は、レコーダまたは再生用デバイスでの動作も異なる場合があります。問題が生じた場合は、別のブランドやタイプに変更してみてください(たとえば、DVD-RW を使用している場合は、DVD-R に変更します)。

Blu-ray ディスク

Blu-ray レコーダをお使いの場合は、ブランクの Blu-ray ディスク (BD-R) メディアを使用して、25 GB の情報を保存できる Blu-ray ディスクにデータを保存します。ほとんどの Blu-ray レコーダは、50 GB の情報を保存できる二層の Blu-ray ディスクもサポートしています。Blu-ray レコーダによっては、内容を消去して再利用できる書き換え可能なメディア (BD-RE) に対応している機種もあります。

DVD プレーヤと同様、Blu-ray Disc™ セットトッププレーヤによって、対応するディスクの種類は異なります。他のブランドや種類に切り替える場合のガイドラインもここで紹介します。

メディアブラウザの使用

Toast メディアブラウザを使用すると音楽、写真、ビデオ、T あるいはコンピュータに保存したファイルにすばやくアクセスすることができます。メディアブラウザからコンテンツをコンテンツ領域に簡単にドラッグアンドドロップできます。使用可能な機能とオプションは、ソフトウェアのバージョンによって異なります。

メディアブラウザを使用するには：

- 1 「メディア」ボタンをクリックするか、Ctrl+S キーを押すと、メディアブラウザウインドウが表示されます。
- 2 メディアブラウザウインドウの下部にあるテキストフィールドに検索単語を入力して、ファイル、またはフォルダを検索するか、ブラウズするメディアの種類を選択します。
 - **データ：**ローカルハードディスク、外部ディスク、接続されているネットワークボリュームのファイルやフォルダをブラウズします。
 - **オーディオ：**iTunes ライブラリのオーディオを参照します。
 - **ビデオ：**ムービーフォルダのビデオや iMovie プロジェクトをブラウズします。以下の項目もブラウズできます：
 - デスクトップ、またはムービーフォルダにある、暗号化されていない DVD ビデオディスク、マウントされたディスクイメージ、あるいは VIDEO_TS フォルダ。

- 接続された AVCHD ビデオカメラ、またはボリュームに保存されている高解像度のビデオコンテンツ。
 - Toast が開いているときに Web ブラウザで再生した Flash ベースのビデオ。Web ビデオをクリックすると、録画したビデオのサムネイルを視聴できます。
 - **フォト**：iPhoto、Aperture、または Lightroom フォトライブラリで写真を参照します。
-



注記：また、セットトップ DVD レコーダまたは DVD カメラからディスクへアクセスすることもできます。Toast は、通常は MacOS で使用できないこれらのディスクを特別にサポートしています。Toast の起動中に、これらのディスクをレコーダに挿入して、メディアブラウザでそのディスクからビデオを読み込みます。

- 3 ファイル、またはフォルダを検索するには、メディアブラウザウィンドウの下部にあるテキストフィールドに検索単語を入力します。
 - 4 オーディオ、フォト、ムービー、あるいは DVD を参照する場合、メディアブラウザのブラウズメニューからプレイリスト、アルバム、ビデオ、特定の DVD、タイトル、またはチャプタを選択すると、メディアリストにフィルタをかけることができます。
-



注記：メニューのすぐ下にある小さなドットをドラッグすると、ブラウズメニューをウィンドウに展開できます。

- 5 ファイルリストの任意の項目を内容領域までドラッグしてディスクプロジェクトに追加するか、メディアブラウザの下部にある「追加」ボタンをクリックします。
複数の項目を選択するには、コマンドキー (Apple) を押しながら、選択箇所全体をクリックして、内容領域までドラッグします。

項目のグループを選択するには、グループ内の最初の項目をクリックし、シフトキーを押しながら、グループ内の最後の項目をクリックして、選択箇所全体を内容領域までドラッグします。

ファイルを選択してスペースバーを押すか、ファイルリストでファイルをダブルクリックするか、メディアブラウザの下部にある「プレビュー」ボタンをクリックするか、いずれかの方法でほとんどのメディアファイルをプレビューできます。

Toast では、項目が追加されている間、進捗情報が表示されます。コンテンツがディスク (セットトップ DVD レコーダや AVCHD ビデオカメラ) などから追加される場合、ディスクからハードディスクに読み込まれるため、しばらく時間がかかることがあります。

ディスクから読み込まれた項目は、「書類」フォルダの「Roxio Converted Items」フォルダに一時的に保存されます。オーディオまたはビデオに書き出すことにより、これらの項目をディスクプロジェクトで使用したり、ハードディスクに保存することができます。113 ページの「メディアの変換」を参照してください。これらの一時的な項目は、非常に大きいため、Toast を終了すると自動的に削除されます。オリジナルのソースコンテンツがディスクから削除されることはありません。

Roxio Converted Items を空にするタイミングを設定する

「Roxio Converted Items」を空にするタイミングを調整するには：

- 1 「Toast Titanium」>「環境設定」を選択します。
- 2 「ストレージ」をクリックします。
- 3 変換した項目を削除するタイミングを選択します。
- 4 「基本設定」を閉じます。

レコーダ設定の変更

ディスクベースのプロジェクトに使用するレコーダの選択など、レコーダ設定を表示、または変更できます。

レコーダ設定を変更するには：

- 1 Toast のメインウィンドウの下部にある「書き込み設定オプション」ボタンをクリックします。

ヒント：レコーダ設定ウィンドウの「高度な設定」タブにある「書き込みの前にレコーダ設定を表示」を有効にすれば、ディスクを書き込むときは毎回、このウィンドウを表示させることができます。

- 2 「基本」タブをクリックすると、選択したレコーダ、書き込み速度、コピー枚数などのレコーダ設定を変更できます。（複数のレコーダ書き込みを使用する場合、「基本」タブは使用できません）
- 3 「高度な設定」タブをクリックして、以下のような高度な書き込み設定を変更します。
 - **DAO/TAO：**DAO(ディスクアットワンス) オーディオ書き込みを行うと、トラック間に最大 8 秒までのさまざまな長さのポーズを挿入できるようになります。このオプションを実行すると、CD-TEXT にも対応できます。TAO(トラックアットワンス) 書き込みには、すべてのトラック間に 2 秒のポーズが必要です。
 - **ディスク書き込み / セッション書き込み：**データ CD を作成中で、後からデータを追加できるようディスクを「オープン」にしておく場合は、セッションのオプションを選択します。68 ページの「Mac 専用ディスクの作成」を参照してください。
 - **バッファアンダーラン防止を有効にする：**このオプションを選択すると、バッファアンダーラン防止がオンになります。バッファアンダーランエラーは、書き込み中にデータをレコーダーに十分な速度で転送できなくなると発生し、この結果、ブランクディスクが使用できなくなります。このオプションは、お使いのレコーダがバッファアンダーラン防止に対応している場合にのみ利用できます。

- **シミュレーションモード**：ディスクへの書き込みプロセスをシミュレーションする場合は、このオプションを選択します。選択した書き込み速度がお使いのコンピュータに適切であることを確認するには、このオプションを実行してください。
 - **データを検証**：このオプションを選択すると、書き込みを行ったディスクの内容とハードディスク上のソースファイルやフォルダが一致するかどうかを検証します。
 - **カタログディスクコンテンツ**：ディスクに書き込んだファイルのリストを作成する場合、選択します。
 - **書き込み前にレコーダ設定を表示**：赤の「書き込み」ボタンをクリックするたびに、「レコーダ設定」ダイアログを表示するには、このチェックボックスをオンにします。
- 4 現在選択されているレコーダの情報を参照するには、最後のタブをクリックします。
 - 5 完了したら、「OK」をクリックします。

Toast プロジェクトの保存と開始

Toast プロジェクトを保存して、後で開いてディスクに書き込むこともできます。

現在のプロジェクトを保存するには：

- 1 「ファイル」>「保存」を選択します。
- 2 ファイル名を入力し、保存先を選択します。
- 3 「保存」をクリックします。保存した Toast のディスクプロジェクト名は、「.disc」で終わります。

保存したプロジェクトを開くには：

- 1 「ファイル」>「開く」を選択します。
- 2 開きたい Toast プロジェクトファイルを選択します。
- 3 「開く」をクリックします。

ヒント：「ファイル」>「最近使った項目を開く」を選択し、そのプロジェクトをクリックすれば、最近使ったプロジェクトをスピーディに参照し、開くことができます。Toast プロジェクトファイルをダブルクリックしても、開くことができます。



注記：Toast では、内容領域にファイルやフォルダへのポインタが保存されています。ハードディスクからオリジナルの項目を移動または削除すると、プロジェクトを開く際に見つからなくなるおそれがあります。すべてのソースファイルを含む単一ファイルを保存するには、ディスクイメージとして保存する必要があります。58 ページの「ディスクイメージの保存」を参照してください。

ディスクの消去

書き換え可能な CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、または BD-RE you are using rewritable CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、BD-RE メディアを使用している場合は、ディスクの内容全体を消去して、再書き込みすることができます。



警告：ディスクを消去すると、元に戻すことはできません。

書き換え可能なディスクを消去するには：

ディスクをレコーダに挿入します。

- 1 「レコーダ」>「消去」を選択します。
- 2 ディスクの消去方法を、以下から選択します。
 - **簡易消去：**この方法は、標準の消去オプションより高速にディスクを消去できますが、Toast でしか再書き込みできなくなります。

- **消去：**この方法でディスクを消去すると、どのライティングソフトウェアでも再書き込みできるようになります。

ヒント：書き換え可能メディアにプロジェクトを書き込む場合、プロジェクトを開始する前にディスクを消去するダイアログが表示されます。ディスクのコンテンツ全体が消去され、復元できません。

ディスクの取り出し

レコーダからディスクを取り出すには、以下の方法があります。

- 「レコーダ」> 「取り出し」を選択します。
- レコーダ名の右側にある「取り出し」ボタンをクリックします。
- 「レコーダ設定」ダイアログで、「取り出し」をクリックします。
- デスクトップから Dock のゴミ箱に、ディスクアイコンをドラッグします。

Toast Extras

Pro バージョンの Toast Titanium には、デジタルメディアの保存、共有、閲覧に便利な多彩なアプリケーションが付属しています。これらのアプリケーションは Toast インストーラのオプションとしてインストールされ、Toast Extras メニューから簡単にアクセスできます。

オプションのアプリケーション：

- DiscCatalogMaker RE
- Roxio Video Player
- ライブ画面キャプチャ
- MyDVD
- Toast Audio Assistant

ライブ画面キャプチャについて、詳しくは以下をご覧ください。その他のアプリケーションについての詳細は、該当するアプリケーションのヘルプをご利用ください。

ライブ画面キャプチャ

ライブ画面キャプチャでは、トレーニング、デモンストレーション、その他のビデオプロジェクトなどで画面上の操作を録画できるものです。



画面操作をキャプチャするには

- 1 Extras > ライブ画面キャプチャ。
- 2 ライブ画面キャプチャダイアログでは、画面メニューで全画面またはカスタムを選択します。
カスタムを選択した場合、幅（W）と高さ（H）の値を入力することにより、キャプチャ範囲を設定するか、「トリミング」ボタンを押して、 画面上をドラッグしてください。
- 3 次の設定のいずれかを指定します：
 - フレームレート — 高いFPS (frames per second) 設定ではスムーズなアクションをキャプチャできますが、ファイルの容量が大きくなってしまいます
 - ビデオプリセット — 解像度を選択できます
 - マイク入力 — チェックボックスを選択して音声を選択します
 - マウスクリックアニメーション — チェックボックスを選択して、画面上のポインタの動きをキャプチャします
- 4 録画ボタンをクリックして  録画を開始します。
- 5 録画を一時停止または再開するには、Shift+Command+1 を押します。

- 6 録画を停止するには、Option+Command +1 を押します。ファイル名を入力し、ファイルの保存先を選択、「保存」を選択します。

テクニカルサポート オプション

セルフヘルプオプション

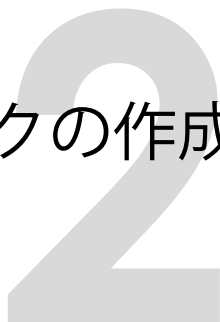
Roxio では、トラブルシューティングのヒントを含むサポート記事の検索可能なナレッジベース、他のユーザとのディスカッショングループなど多彩なセルフヘルプツールをご用意し、ユーザーの皆様が Roxio 製品を最大限に活用できるお手伝いをしております。

<http://support.roxio.com> では質問に対するほとんどの回答を見つけることができます。

電話と電子メールによるサポートオプション

お使いの Roxio 製品に対する電話と電子メールによるサポートは、制限付き、または有償ベースでご利用いただけます。製品登録が必要です。お客様が利用できるオプションについては、弊社の Web サイト <http://support.roxio.com> をご覧ください。

ビデオディスクの作成



章内セクション

ビデオディスクとは	24
ビデオディスクの種類	24
ビデオディスク作成の概要	25
DVD および BD ビデオディスクの作成	27
VIDEO_TS フォルダからの DVD の作成	46
VIDEO_TS コンピレーションの作成	50
BDMV フォルダディスクの作成	51
AVCHD アーカイブの作成	52
ビデオを編集	53

ビデオディスクとは

ビデオディスクとは、写真やビデオファイルを入れる CD、DVD、または Blu-ray ディスクのことです。ビデオディスクは、セットトッププレーヤで再生を行うためのもので、DVD、または Blu-ray プレーヤ、および適切なソフトウェアを搭載した Macintosh または Windows コンピュータで使用することもできます。

ビデオディスクの種類

Toast は、— その他の Mac CD 作成ソフトウェアを超える、あらゆるビデオディスクを作成できます。

- **DVD-Video**：この DVD は、セットトップ DVD プレーヤ、または DVD プレーヤ付きの Macintosh や Windows コンピュータで再生できます。DVD は、2～5 時間のビデオまたはスライドショーを記録し、最高の品質と完全なナビゲーションメニューを提供します。DVD プレーヤで再生する場合は、このディスクが最適です。27 ページの「*DVD および BD ビデオディスクの作成*」を参照してください。
- **Blu-ray ビデオ**：Blu-ray ディスクは、一部のゲームコンソールなどのセットトップ Blu-ray プレーヤで再生できます。Blu-ray ビデオディスクには、高解像度ビデオを長時間録画できます。Blu-ray プレーヤを持っている場合、高解像度のビデオ再生には最適な選択です。27 ページの「*DVD および BD ビデオディスクの作成*」を参照してください。
- **高解像度 DVD**：HD ビデオを DVD にオーサリングし、Blu-ray プレーヤで高解像度再生できる特殊な DVD です。30 ページの「*高解像度 DVD の作成*」を参照してください。
- **VIDEO_TS フォルダ**：このプロジェクトで、別々の Video-TS フォルダから複数の DVD ビデオを作成します。46 ページの「*VIDEO_TS フォルダからの DVD の作成*」を参照してください。

- **VIDEO_TS コンピレーション**：このプロジェクトで複数の Video_TS フォルダを 1 枚の DVD に書き込むことができます。ビデオは内容領域に表示される順番に処理されます。50 ページの「*VIDEO_TS コンピレーションの作成*」を参照してください。
- **BDMV フォルダ**：別のアプリケーションで生成された有効な BDMV ビデオフォルダを使用した Blu-ray ビデオディスクです。51 ページの「*BDMV フォルダディスクの作成*」を参照してください。
- **AVCHD アーカイブ**：このディスクでは、画質を損なわずに、AVCHD カメラの高解像度ビデオを標準 DVD または BD ディスクに保存することができます。52 ページの「*AVCHD アーカイブの作成*」を参照してください。

ビデオディスク作成の概要

このセクションでは、Toast を使用したビデオディスク作成の基本プロセスについて説明します。

ヒント：ディスクは一回の操作で複数のレコーダに書き込むことができます。詳細については、66 ページの「*複数のレコーダにプロジェクトを書き込む*」を参照してください。

- 1 アシスタントまたは Toast のメインウィンドウで、「ビデオ」をクリックします。
- 2 ディスクフォーマットを選択します。例えば、「DVD-Video」を選択します。
- 3 必要に応じて、オプションの設定を選択します。
- 4 ハードディスクまたはメディアブラウザからオーディオファイルを内容領域にドラッグアンドドロップするか、メディアブラウザウィンドウの下部にある「追加」ボタンをクリックして、ディスクにオーディオファイルを追加します。(13 ページの「*メディアブラウザの使用*」を参照してください)

DV、AVI、MOV、H.264、HDV (1080i/720p)、MPEG-4 など QuickTime 対応のビデオファイルを追加できます。また、iMovie HD プロジェクト、MKV、DivX Plus HD、AVCHD、AVCHD Lite など、QuickTime がサポートしていないファイル、および EyeTV 録画も追加できます。

iMovie プロジェクトを追加するには、初めにプロジェクトを保存します。次に、「共有」「メディアブラウザ」を選択し、必ず「大サイズ」を選択してください。発行をクリックしたら、プロジェクトはメディアブラウザの「ムービー」でアクセス可能になります。

内容領域に追加する写真の各グループが、スライドショーとして表示されます。ディスクメニューには、スライドショーごとに、スライドショーの再生を選択できるボタンがあります。スライドショーの複製、順序の変更、削除、または編集を行えます。詳細については、31 ページの「スライドショーの作成」を参照してください。

ディスクメニューには、内容領域に追加するビデオごとに、ビデオの再生を選択できるボタンがあります。ビデオの複製、順序の変更、削除、またはトリミングを行えます。詳細については、33 ページの「ビデオの操作」を参照してください。

注記：また、ディスク用の DV ビデオカメラからテープを自動に読み込むこともできます。37 ページの「Plug & Burn の使用」. を参照してください。

- 5 書き込み可能なブランクディスクを挿入します。
- 6 **オプション：**画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 7 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

DVD および BD ビデオディスクの作成

フルメニューナビゲーションと Dolby Digital サウンドを備えた高画質ビデオディスクを作成する場合、DVD および Blu-ray ディスクはいずれも最高の選択です。

標準 DVD-Video は約 2.5 時間のビデオまたはスライドショーをおさめることができます。デュアルレイヤ DVD-Video の場合は、平均的な画質で約 5 時間のデータを記録できます。

50 GB の Blu-ray ビデオディスクは、ワイドスクリーン形式の高解像度ビデオを 9 時間以上、標準解像度ビデオなら最大 23 時間書き込むことができます。

DVD に変換したい既存の VIDEO_TS フォルダがある場合は、「VIDEO_TS フォーマットプロジェクト」を使用します。46 ページの「VIDEO_TS フォルダからの DVD の作成」を参照してください。ディスクに書き込みたい既存の BDMV フォルダがある場合は、51 ページの「BDMV フォルダディスクの作成」を参照してください。

ビデオディスクを作成するには：

- 1 アシスタントまたは Toast のメインウィンドウで、「ビデオ」をクリックします。
- 2 アシスタントから「DVD-Video」をダブルクリックします。
Toast メインウィンドウのフォーマット選択メニューから「DVD-Video」を選択します。
- 3 必要であれば「オプション」ボタンをクリックし、オプションのディスク設定を表示します：
 - **メニュースタイル：**メニューの背景画像、テキスト、ボタンのスタイルを選択します。
 - **品質：**Toast はディスクにおさまるようにビデオを圧縮する必要があります。圧縮したビデオの品質を選択してください。品質が高くなると、処理時間が長くなります。
 - **標準：**人が話している様子などの単純なビデオに適しています。処理時間が最も早い方法です。

- **高**：ほとんどのビデオに適しています。標準的な処理時間の方法です。
 - **最高**：速い動作などの複雑なビデオに適しています。処理時間が最もかかる方法です。
 - **カスタム**：カスタムの画質レベルを作成するには、「カスタマイズ」をクリックし、「エンコーディング」タブから「カスタム」オプションを選択します。
 - **ディスク挿入時に自動再生する**：このオプションを選択すると、このディスクをプレーヤに挿入した時に、最初のビデオ、スライドショー、またはプレイリストが自動的に再生されます。メインメニューは表示されませんが、プレーヤのリモコンにある「メニュー」ボタンからアクセス可能です。
 - **全ての項目を連続して再生する**：このオプションを選択すると、メインメニューに戻らなくても、ビデオまたはスライドショーを自動再生できます。
 - **引用元の写真を含める**：このオプションを選択すると、ディスクの別のフォルダにあるスライドショーから引用元である元の写真を最高品質でコピーします。このフォルダは、DVDをMacintoshまたはWindowsコンピュータで使用する際にアクセスできます。
 - **DVD-ROMのコンテンツを含む**：このオプションを選択すると、ディスクのROM部分に追加データが含まれます。このデータは、ディスクをMacintoshまたはWindowsで使用する場合にアクセスできます。詳細については、41ページの「DVD-Video ディスクにROM データを追加」を参照してください。
- 4 さらに細かいディスク設定については、「カスタマイズ」をクリックします。39ページの「ビデオディスク設定」を参照してください。
- 5 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、写真、またはビデオファイルをディスクに追加します。

- 6 ブランクの書き込み可能な DVD、または Blu-ray ディスクを挿入します。
- 7 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 8 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

DVD-Video のプレビュー

ディスクイメージとして保存して Toast Image マウンタを使用すれば、実際にディスクに書き込む前に DVD-Video ディスクをプレビューできます。

DVD をプレビューするには：

- 1 書き込む代わりに、「ファイル」>「ディスクイメージで保存」を選択します。
- 2 ディスクに名前をつけるダイアログが表示されたら、名前を入力します。
- 3 ディスクイメージファイルの名前と保存先を選択します。
- 4 「保存」をクリックします。
ディスクイメージファイルが作成されます。
- 5 Toast Titanium メニューで「ユーティリティ」>「ディスクイメージのマウント」を選択します。
- 6 ディスクイメージファイルまでナビゲートして選択し、「選択」をクリックします。

DVD は、デスクトップにマウントされます。

ヒント：イメージファイルは以下の方法でもマウントできます。Ctrl+クリックしながらファイルを選択し、「マウント」を選択します。

- 7 Mac OS X 付属の DVD プレーヤソフトウェアで DVD をプレビューしてください。

この結果で問題なければ、「イメージファイル」フォーマットを使用して DVD を書き込みます。111 ページの「ディスクイメージファイルのコピー」を参照してください。



注記： 詳細については、58 ページの「ディスクイメージの保存」および 59 ページの「ディスクイメージのマウント」を参照してください。

高解像度 DVD の作成

高解像度 DVD は独特の種類のビデオディスクで、HD ビデオを DVD にオーサリングし、高解像度で再生できるようになっています。つまり、Blu-ray Disc レコーダがなくても、HD ビデオディスクを作成できるのです。このプロジェクトで標準 DVD ディスクに書き込んだ場合も、完成したプロジェクトは PlayStation® 3 など Blu-ray Disc™ プレーヤでしか表示できません。この種類のプロジェクトは、AVCHD ビデオカメラからビデオディスクを作成する場合に最適です。

標準的なシングルレイヤ DVD は約 30 分の HD ビデオを収めることができ、デュアルレイヤ DVD は約 1 時間の HD ビデオを記録できます。実際には Toast にこれよりも長い時間のビデオを追加できても、追加することによりビデオが圧縮され、画質が低下することになります。これらのディスクにはフルメニューナビゲーションが付き、このオプションをオンにして DVD-Video、または Blu-ray ビデオプロジェクトを作成した場合と同じ方法で作成されます。

高解像度 DVD を作成するには：

- 1 Toast のメインウィンドウで「ビデオ」をクリックします。
- 2 フォーマット選択メニューで「DVD-Video」を選択します。
- 3 必要であれば「オプション」ボタンをクリックし、フォーマットに「高解像度 DVD」を選択します。使用可能なディスク設定とオプションは、DVD、または Blu-ray Disc™ を作成する場合と全く同じです。これらのオプションと設定の詳しい情報について

ては、27 ページの「DVD およびBD ビデオディスクの作成」をご覧ください。

- 4 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、HD ビデオファイルをディスクに追加します。
- 5 ウィンドウの下部にあるディスクゲージで、ターゲットメディアタイプとして DVD、または DVD DL のいずれかを選択します。
- 6 書き込み可能なブランク DVD を挿入します。
- 7 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 8 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

スライドショーの作成

ビデオディスクを作成する際、内容領域に追加する写真の各グループが、スライドショーとして表示されます。メニューには、スライドショーごとにボタンがあり、ディスクを再生する際に TV に表示されます。スライドショーには、写真を 99 枚まで入れることができます。スライドショーの順序の変更、複製、削除、または編集を行えます。

スライドショーを並べ替えるには：

- 1 順序を変更したいスライドショーを選択します。
- 2 内容領域の新しい位置にスライドショーをドラッグします。
黒いバーは、スライドショーが配置された場所を示しています。

スライドショーを複製するには：

スライドショーを選択して、「編集」>「複製」を選択します。

スライドショーを削除するには：

- 1 削除したいスライドショーを選択します。
- 2 選択したスライドショーの削除は、次の3つの方法のいずれかで行えます：
 - 「ファイルを削除」ボタンをクリックします。
 - 「Delete」キーを押します。
 - 「編集」>「消去」を選択します。

スライドショーおよびスライドショーに含まれる写真は、内容領域から削除できますが、オリジナルの写真はハードディスク、iPhoto、Aperture、またはLightroomライブラリからは削除されません。

TVメニューボタンまたはスライドショーのグラフィックを編集するには：

- 1 スライドショーを選択して「編集」をクリック、または任意のスライドショーをダブルクリックします。
- 2 「テキスト」タブをクリックして、テキストを編集します。
- 3 「スライドショー」タブをクリックして、ボタングラフィックを編集します。
- 4 スライドショーの任意の写真を選択して、「ボタンピクチャの設定」をクリックします。
- 5 「完了」をクリックします。

写真をスライドショーに追加するには：

メディアブラウザまたはハードディスクから、写真をスライドショーにドラッグします。スライドショーを囲んでいる長方形は、写真が追加されることを示しています。

スライドショーの写真を削除、または順序を変更するには：

- 1 スライドショーを選択して「編集」をクリック、または任意のスライドショーをダブルクリックします。

- 2 「スライドショー」タブをクリックして、次のオプションから任意のものを選択します：
 - 写真を削除するには、写真を選択して「削除」をクリックします。写真はスライドショーから削除されますが、オリジナルの写真はハードディスク、iPhoto、または Aperture ライブラリからは削除されません。
 - 写真の順序を変更するには、写真リストの新しいポジションに写真をドラッグします。写真の間にある黒いバーは、写真が配置される場所を示しています。写真リストの最上部には、ナビゲーションを容易にするため、大小の写真列を切り替えるボタンがあります。
- 3 「完了」をクリックします。

スライドショーの再生時間を調整するには：

- 1 スライドショーを選択して「編集」をクリック、または任意のスライドショーをダブルクリックします。
- 2 「スライドショー」タブをクリックします。
- 3 「スライドの再生時間」をクリックして、各スライドを表示する時間の長さを選択します。スライドショーは、設定時間になると次のスライドに自動的に進みます。また、プレーヤのリモコンにあるチャプタボタンを使用して、次のスライドに手動で進むこともできます。スライドショーを自動的に進めたくない場合で、スライドショーを手動でのみ進めたい場合は、「手動」を選択します。

イメージを進める場合、「手動」をサポートしていないプレーヤもあります。
- 4 「完了」をクリックします。

ビデオの操作

完成したビデオディスクを操作する場合、内容領域に追加した各ビデオ用のボタンのあるメニューが表示されます。ビデオの並べ替え、複製、削除はここで行います。ビデオファイルをトリミングして、Toast がディスクに書き込むビデオの部分を決定できます。こ

れは、ハードディスクのオリジナルビデオファイルには影響がありません。

ビデオディスクにチャプタを追加すると、再生中にプレーヤのリモコンにあるチャプタボタンで、ビデオの早送りと巻き戻しができます。

ビデオを並べ替えるには：

- 1 順序を変更したいビデオを選択します。
- 2 内容領域の新しいポジションにビデオをドラッグします。
黒いバーは、ビデオが配置される場所を示しています。

ビデオを複製するには：

ビデオを選択して、「編集」>「複製」を選択します。

ビデオを削除するには：

- 1 削除したいビデオを選択します。
- 2 次の任意の方法で、選択したビデオを削除します：
 - 「ファイルを削除」ボタンをクリックします。
 - 「Delete」キーを押します。
 - 「編集」>「消去」を選択します。

ビデオは、内容領域から削除されますが、オリジナルのビデオはハードディスクまたは Movies フォルダから削除されません。

TV メニューボタンのテキスト、またはビデオのグラフィックを編集するには：

- 1 ビデオを選択して「編集」をクリック、または任意のビデオをダブルクリックします。
- 2 ビデオ編集ウィンドウで「テキスト」タブをクリックして、テキストを編集します。
- 3 ボタングラフィックを変更するには、ボタンピクチャとして使用したいビデオのフレームを選択します。

「再生」ボタンを押して、ビデオを再生します。希望するビデオフレームを見つけたら、「一時停止」をクリックします。また、

再生ヘッドを後ろまたは前にドラッグして、希望するビデオフレームが見つかるまでビデオをプレビューすることもできます。

- 4 「ピクチャ設定」をクリックします。
- 5 「OK」をクリックします。

ビデオの一部をトリミング、または編集するには：

- 1 ビデオを選択して「編集」をクリック、または任意のビデオをダブルクリックします。
- 2 プレビューウインドウで2つのトリミングマーカー（ビデオの下にある小さな三角形）を確認できます。

以下のいずれかの方法で、開始マーカーと終了マーカーを調整します。

- マーカーを左右にドラッグします。
- 開始または終了コントロールに時間を入力し、「再生時間」ボックスをクリックしてマーカーをリセットします。

さらに細かい調整を行うには：

- マーカーをクリックし、左右いずれかの矢印キーを押します。
- 開始および終了コントロールの隣にある上向きおよび下向き矢印キーをクリックします。

開始マーカーと終了マーカーの間のビデオが完成ディスクに保存されます。マーカーの範囲外の部分は除外されます。ハードディスクに保存されているオリジナルのビデオは変更されません。

- 3 「OK」をクリックします。



注記：編集操作は非破壊的（ソースを壊さない）です。

ビデオの複製を行って、それぞれ異なったトリミングマークを作成できます。

チャプタマーカを設定するには：

- 1 ビデオを選択して「編集」をクリック、または任意のビデオをダブルクリックします。
- 2 「チャプター」タブをクリックします。
- 3 チャプターマーカは自動、または手動で設定できます。

マーカを自動的に設定するには、「自動」を選択します。プルダウンメニューから以下のいずれかの項目を選択します。

- **なし：**このオプションを選択すると、ディスクにチャプタマーカが表示されません。
- **自動：**このオプションを選択すると、iMovie で設定されたチャプタマーカを使用できます。また、このオプションは、Plug & Burn ビデオの読み込み中に検出されたシーンに基づいてチャプタマーカを割り当てすることもできます。37 ページの「Plug & Burn の使用」を参照してください。
- **# 分おき：**このオプションを選択すると、修正された時間間隔でチャプタを割り当てることができます。

チャプタマーカを手動で設定するには：

- a 「手動」を選択します。
 - b プレビュー再生ヘッドを希望する位置までドラッグします。
 - c チャプタータブの下部で「追加」ボタンをクリックします。
 - d この手順を繰り返して、マーカを追加します。
- 4 「OK」をクリックします。
 - 5 追加したチャプタマーカを基準にシーンメニューをディスクに入れた場合は、「オプション」パネルの「カスタマイズ」をクリックします。「メニュー」タブをクリックして、「ビデオのシーンメニューを含む」を選択します。詳細については、39 ページの「ビデオディスク設定」を参照してください。

Plug & Burn の使用

ビデオディスクを作成する際は、Plug & Burn 機能を使用して、DV ビデオカメラからビデオを自動読み込みすることができます。テープ全体、あるいはテープの一部をインポートすることができます。読み込みが完了したら、すぐにディスクの書き込みを開始するか、書き込みを行う前にハードディスクから他のビデオまたはスライドショーを追加してください。

完成したビデオディスクを操作する場合、インポートした各ビデオ用のボタンのあるメニューが表示されます。

ビデオを読み込むには：

- 1 新規 DVD-Video、または Blu-ray ビデオプロジェクトのいずれかを起動します：
 - 27 ページの「DVD およびBD ビデオディスクの作成」を参照してください。Plug & Burn を開始する前に、任意のディスク設定を選択します。
- 2 Firewire ケーブルを介してコンピュータに DV ビデオカメラを接続し、再生 (VCR) モードに設定します。
数秒で、「ビデオカメラ」アイコンが内容領域に表示されます。
- 3 「ビデオカメラ」アイコンの横にあるカメラコントロールを使用して、読み込みを開始するポイントまで早送りまたは巻き戻しを行います。テープの最初から読み込む場合は、この手順は省きます。
- 4 「読み込み」をクリックします。
- 5 「Plug & Burn」オプションを選択します：
 - **クリップの説明：**このビデオの TV メニューにあるメニューボタンにテキストを入力します。
 - **読み込み：**読み込むビデオの量を (分で) 選択します。「テープすべて」を選択すると、DV テープにあるビデオをすべて読み込みます。

- **テープの巻き戻し / 現在の位置**：「テープの巻き戻し」を選択すると、読み込む前にテープの最初まで自動的に巻き戻しを行います。「現在の位置」を選択すると、テープの現在の位置から読み込みを開始します。

読み込んですぐにディスクへの書き込みを行うか、ディスクを書き込む前にビデオまたはスライドショーを読み込んで追加を行います。

読み込み後すぐにディスクの書き込みを開始するには：

- 1 書き込み可能なブランクディスクを挿入します。
- 2 「読み込み & 書き込み」ボタンをクリックして、リストからレコーダ、および「コピー枚数」などの書き込み設定オプションを選択します。
- 3 「書き込み」をクリックして、作業を続けます。

Toast は DV ビデオカメラを開始し、ハードディスクにビデオを読み込みます。インポートが完了したら、Toast がディスクに書き込みを行います。ディスクへの書き込み中に進捗バーとステータス情報が表示されます。

読み込んでから、書き込む前にビデオまたはスライドショーを追加します：

- 「読み込み」をクリックします。

Toast は DV ビデオカメラを開始し、ハードディスクにビデオを読み込みます。読み込みが完了すると、新規のビデオが内容領域に追加されます。次に、ビデオまたはスライドショーの追加を行います。

また、読み込んだビデオをハードディスクに書き出すこともできます。

読み込んだビデオは、書類フォルダの Roxio Converted Items フォルダに一時的に保存されます。読み込んだビデオファイルの容量は非常に大きい（読み込んだビデオの 10 分ごとに 2 GB）、Toast を終了すると自動的に削除されます。オリジナルソースコンテンツは、ビデオカメラの DV テープからは削除されません。

読み込んだ項目をもっと長時間保存できるように基本設定を構成することができます。15 ページの「*Roxio Converted Items を空にするタイミングを設定する*」を参照してください。

ビデオディスク設定

ミュージック DVD、DVD-Video、または Blu-ray ビデオディスクを作成する場合は、ディスクのコンテンツとメニューに関する多彩なオプションを選択できます。一般的な設定の一部は「オプション」パネルで使用できます。「オプション」パネルで「カスタマイズ」ボタンをクリックし、「ディスク」または「メニュー」タブをクリックすると、すべての設定にアクセスできます。

「ディスク」タブでは、次の設定が使用可能です。

- **ディスク名：**ディスクの名前を入力します。この名前は、ディスクを Macintosh または Windows コンピュータに挿入する際に表示されます。
- **ディスク挿入時、ディスクを自動再生する：**このオプションを選択すると、このディスクをプレーヤに挿入した時に、最初のビデオ、スライドショー、またはプレイリストが自動的に再生されます。メインメニューは表示されませんが、プレーヤのリモコンにある「メニュー」ボタンからアクセス可能です。
- **全ての項目を連続して再生する：**このオプションを選択すると、メインメニューに戻らずに、ビデオ、スライドショー、またはプレイリストを順に自動再生します。
- **DVD-ROM のコンテンツを含む：**このオプションを選択すると、ディスクの ROM 部分に追加データが含まれます。このデータは、ディスクを Macintosh または Windows で使用する場合にアクセスできます。詳細については、41 ページの「*DVD-Video ディスクに ROM データを追加*」を参照してください。

- **引用元の写真を含める：**このオプションを選択すると、ディスクの別のフォルダにあるスライドショーから引用元である元の写真を最高品質でコピーします。このフォルダは、DVD を Macintosh または Windows コンピュータで使用する際にアクセスできます。

「メニュー」タブでは、次の設定が使用可能です。

- **メニュータイトル：**メインメニューのタイトルを入力します。
- **メニュースタイル：**メニューの背景イメージ、テキスト、ボタンのスタイルを選択します。

Toast で作成される DVD のメニューに含まれるボタンは、市販の DVD のメニューおよびボタンに類似しています。最終的なディスクはメニューの検索や、ボタンを選択して、ビデオ、スライドショー、またはプレイリストの再生を行うことができます。

メニューのないディスクを作成するには、スタイルで「メニューなし」を選択します。

- **アスペクト比：**この設定は、ソースビデオのフィールドのアスペクト比を合わせるものです。ほとんどの場合は、Toast がソースビデオのアスペクト比を検出して、自動設定が対応します。
- **ボタン数：**各メニューに表示されるボタンの数を選択します。



注記：メニュースタイルが変われば、一つのメニュースクリーンに表示される各ボタンで適用できるオプションの内容も変わります。

Toast ではディスクに追加するビデオ、スライドショー、またはプレイリスト用のメニューにボタンを追加します。ボタンの数が設定された最大数になると、自動的に新しいメニューが作成されます。

- **ボタンハイライトの色：**DVD の任意のボタンが選択された時に表示されるハイライトの色を選択します。
- **背景色：**メニューの背景色として使用したい色を選択します。選択した任意のメニュースタイルの背景が置き換わります。
- **テキスト色：**ディスクメニューに表示されるテキストに使用する色を選択します。
- **カスタムメニュー背景：**カスタムメニュー背景イメージを追加するには、メディアブラウザからイメージを既存メニューのサムネイルイメージにドラッグアンドドロップします。
カスタムメニュー背景を削除するには、サムネイルを選択して「削除」を押します。
- **ビデオのシーンメニューを含む：**このオプションを選択すると、ディスク上のビデオすべてのメニューにシーンメニューが含まれます。このメニューを使用すると、あらゆるポイントからビデオを再生することができます。
- **スライドショーのスライドメニューを含む：**このオプションを選択すると、ディスク上のスライドショーすべてのメニューにスライドメニューが含まれます。このメニューを使用すると、あらゆるポイントからスライドショーを再生することができます。
- **ミュージックのスマートリストを含む：**このオプションを選択すると、ミュージック DVD の DVD メニューにスマートリストが含まれます。スマートリストは、全てのアーティスト、アルバム、曲のプレイリストを自動的に作成します。
- **シャッフル再生を含む：**このオプションを選択すると、メニューに各スライドショー、プレイリスト、およびスマートリストの「シャッフル」ボタンが含まれます。再生中に「シャッフル」ボタンをクリックすると、ディスクの写真、またはミュージックトラックがランダムに再生されます。

DVD-Video ディスクに ROM データを追加

DVD-Video ディスクを作成する場合、完成ディスクのコンテンツを Mac、または PC で表示する場合のみアクセスできる追加データファイルをディスクに追加することもできます。DVD をセットトッププレーヤで再生する場合、これらの追加ファイルは DVD プレーヤでは無視されます。

DVD-Video ディスクに ROM データを追加するには：

- 1 内容領域に好きなビデオファイルを追加し、DVD-Video プロジェクトを準備します。
- 2 必要であれば「オプション」ボタンをクリックし、オプションパネルを表示します。
- 3 「DVD-ROM のコンテンツを含む：」チェックボックスが選択されていない場合は、クリックします。これにより「変更」ボタンがアクティベートされます。
- 4 「変更」ボタンをクリックします。
- 5 画面の指示に従って、ファイルとフォルダをディスクの ROM 部分に追加します。
- 6 「OK」をクリックします。
- 7 書き込み可能なブランク DVD を挿入します。
- 8 必要に応じて「オプション」パネルで直接追加オプションを選択するか、「カスタマイズ」をクリックします。
- 9 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 10 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。
- 11 「書き込み」をクリックして、作業を続けます。

ディスクエンコード設定

ミュージック DVD、DVD-Video または Blu-ray ビデオを作成する場合は、ビデオとオーディオのエンコードに関する多彩なオプションを選択できます。一般的な設定の一部は「オプション」パネルで使用できます。

エンコード設定を変更するには：

- 1 新規のミュージック DVD Start a new ミュージック DVD またはビデオディスクプロジェクトを開始します：
 - 96 ページの「ミュージック DVD の作成」を参照してください。
 - 27 ページの「DVD および BD ビデオディスクの作成」を参照してください。
- 2 「オプション」パネルで「カスタマイズ」をクリックし、「エンコード」タブを選択します。
- 3 「自動」または「カスタム」を選択します：
 - **自動：**このオプションを選択すると、ビデオおよびオーディオの設定をエンコードし、品質を最大限向上させてほとんどのコンテンツをディスクに書き込むことができます。可変ビットレートエンコードはビデオで使用され、Dolby Digital 192 kHz はオーディオで使用されて、アスペクト比はソースビデオから自動的に決定されます。
 - **カスタム：**このオプションを手動で選択して、ビデオとオーディオのエンコードオプションを設定します。このオプションは、ビデオおよびオーディオのエンコード専門用語について理解している方のみにお勧めします。
- 4 「自動」を選択する場合は、ビデオ品質を選んでください：
 - **標準：**人が話している様子などの単純なビデオに適しています。処理時間が最も早い方法です。
 - **高：**ほとんどのビデオに適しています。標準的な処理時間の方法です。
 - **最高：**速い動作などの複雑なビデオに適しています。処理時間が最もかかる方法です。

5 「カスタム」を選択する場合は、ビデオエンコードオプションを選んでください：

- **平均的なビットレート**：ビデオエンコーダに、希望する平均的な使用ビットレートを設定します。
- **最大ビットレート**：ビデオエンコーダに、最大ビットレートを設定します。

最小ビットレートは、次の公式を使用して、上記の2つの値から導かれます：最小値 = (2 x 平均値) - 最大値。

- **動き予測**：ビデオストリームでのピクセルの動きの検索に使用する方法を選択します。この設定は、最終的な品質と処理時間に大きく影響します。動き予測を向上すると、処理時間が長くなります。
- **Half-PEL**：動き予測は、あるフレームから次のフレームにわずか2分の1ピクセルしか動かないピクセルを予測する場合に選択します。この設定は通常は有効になっており、品質よりも速度を優先する場合のみ無効にします。
- **再エンコード**：「入」を選択すると、全てのソースビデオを再エンコードします。「切」を選択すると、ソースビデオの再エンコードは行われません。「自動」を選択すると、標準以外のソースビデオの再エンコードのみを行います。
- **優先フィールド**：この設定は、ソースビデオのフィールドの順序を合わせるものです。DVでは通常下のフィールドが最初ですが、他のビデオタイプでは異なる場合があります。ほとんどの場合では、Toastがソースビデオのフィールドの順序を検出して、自動設定が行われます。
- **アスペクト比**：この設定は、ソースビデオのフィールドのアスペクト比を合わせるものです。ほとんどの場合では、Toastがソースビデオのアスペクト比を検出して、自動設定が対応します。

6 「カスタム」を選択する場合は、オーディオエンコードオプションを選んでください：

- **オーディオ フォーマット：**Dolby Digital または非圧縮 PCM を選択します。ほとんど全ての場合で、Dolby Digital が最適です。ディスク容量をほとんど使用せず、DVD により容量の大きいビデオを書き込むことが可能で、音質はほとんど PCM と変わりません。
- **データレート：**ビットレートを選択すると、Dolby Digital オーディオのエンコードを行います。ビットレートが高くなると、若干オーディオのサウンドが良くなりますが、より大きなディスク容量を使用します。Toast はデフォルトで 192 kbps を使用しています。
- **ダイナミックレンジ圧縮：**ダイナミックレンジ圧縮を有効にすると、会話部分をより聞き取りやすくするため、特に低い音量で聞く場合に、大きな音とソフトな音の間にレンジを減少させます。

PCM オーディオは、100 % の厳守を保持したい場合、オーディオソースがすでに非圧縮 PCM の場合のみ、オーディオ CD のトラックまたは高品質なオーディオの書き込みなどに使用します。オーディオファイルがすでに圧縮されている場合 (iTunes ライブラリの MP3 または AAC ソングなど) は、音質が向上しないため、PCM を使用しないでください。

Toast は、48 kHz / 16 bit レベル、または 48kHz / 24 bit レベルで PCM を書き込みますが、これは標準の CD より高い品質です。96 kHz / 24 ビットで書き込まれた音声は、「96 kHz / 24 ビット」オプションを選択しない限りは、自動的にサンプリングレートが減らされます。この結果、高音質を維持できますが、ディスク容量が著しく減少します。

PCM を選択すると、既存の Dolby Digital オーディオファイルは PCM に再変換せずに「通過」します。

7 「OK」をクリックします。



注記：また、Toast が最初に設置したデフォルト設定に、エンコードをリセットしたい場合は、「デフォルトのリセット」をクリックすることもできます。

Toast 設定には、ビデオディスクの適切な TV 規格を設定するオプションが含まれています。

TV 規格設定を変更するには：

- 1 「Toast」 > 「初期設定」を選択します。
- 2 「ビデオ」タブをクリックします。
- 3 TV 規格の選択：
 - **NTSC**：北米、日本、南米の一部、およびアジアでテレビと互換性のあるディスクを作成します。
 - **PAL**：欧州とアジアのほとんど、南米の一部でテレビと互換性のあるディスクを作成します。
- 4 「基本設定」を閉じます。

エンコードした項目は、書類フォルダの Roxio Converted Items フォルダに一時的に保存されます。これらの項目は追加ディスクプロジェクトで使用でき、再エンコードの必要はありません。一時ファイルは大容量になる可能性があるため、Toast を終了すると自動的に削除されます。



注記：オリジナルのソースコンテンツは、ハードディスクから削除されません。

読み込んだ項目をもっと長時間保存できるように基本設定を構成することができます。15 ページの「Roxio Converted Items を空にするタイミングを設定する」を参照してください。

VIDEO_TS フォルダからの DVD の作成

既存の DVD-Video VIDEO_TS フォルダから DVD を作成し、DVD ドライブ、および DVD 再生ソフトウェアを搭載した Macintosh または Windows のセットトップ DVD プレーヤで再生することができます。

一部の VIDEO_TS フォルダは大きすぎるため、標準的な記録容量 4.7 GB の DVD に書き込む必要が生じる場合があります。Toast はこのビデオを圧縮して、標準 DVD に書き込むことができますが、レコーダがデュアルレイヤの書き込み可能な DVD をサポートする場合は、このフォルダからデュアルレイヤ DVD ビデオを作成できます。

Toast では、以下の 2 種類のフォーマットオプションを用意しています。「Video_TS」フォルダを選択し、別のディスクに各 Video_TS フォルダを書き込みます。複数の Video_TS フォルダを 1 枚のディスクに書き込む場合は「VIDEO_TS コンピレーション」を選択します。このトピックでは、Video_TS フォルダフォーマットについて説明します。ビデオコンピレーションの作成については、50 ページの「VIDEO_TS コンピレーションの作成」を参照してください。

VIDEO_TS フォルダから DVD を作成するには：

- 1 アシスタントまたは Toast のメインウィンドウで、「ビデオ」をクリックします。
- 2 アシスタントで「VIDEO_TS フォルダ」をダブルクリックします。Toast のメインウィンドウのフォーマット選択メニューから「VIDEO_TS フォルダ」を選択します。
- 3 必要であれば「オプション」ボタンをクリックし、オプションのディスク設定を表示します。
 - **Fit-to-DVD ビデオ圧縮を使用する：**Fit-to-DVD は、ビデオを自動的に圧縮し、標準 4.7 GB の書き込みが可能な DVD に書き込みを行います。圧縮をすることで、ビデオの品質が若干低下する可能性があります。オーディオの品質は変わりません。



注記：デュアルレイヤ DVD に書き込む場合は、圧縮は行われません。

- 4 VIDEO_TS フォルダを、ご使用のハードディスクの内容領域にドラッグアンドドロップします。
コピーする情報の要約が内容領域に表示されます。
 - 5 「オプション」をクリックして、任意の Fit-to-DVD 設定を選択します：
特定の言語およびフォーマットでメインムービーのみのコピーを選択できます。これにより、必要な圧縮の量が減少し、品質を最大限向上させ、ディスクの空き容量を利用できるようになります。48 ページの「コピーオプションの変更」を参照してください。
-



注記：複数の DVD-Video ディスクを連続して書き込みたい場合、内容領域に VIDEO_TS フォルダを追加し、各ディスクに対してコピーオプションを選択します。

- 6 書き込み可能なブランク DVD を挿入します。
- 7 **オプション：**画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 8 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。
Toast は、セットトップ DVD プレーヤと互換性を持たせるため、書き込み中に、ブランクの AUDIO_TS フォルダをディスクに自動的に追加します。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。複数の VIDEO_TS フォルダを書き込む場合、ディスクごとにブランクの書き込み可能 DVD を挿入するよう指示するダイアログが表示されます。

ディスクイメージを保存して Toast Image マウンタを使用すれば、実際にディスクに書き込む前に DVD をプレビューできます。詳細については、29 ページの「DVD-Video のプレビュー」を参照してください。



注記：複数の VIDEO_TS フォルダを同時に書き込む場合、「ディスクイメージで保存」を使用してください。ユーザーによる入力には指示せず、Toast が各 VIDEO_TS フォルダを処理します。これらのイメージファイルは後で書き込むこともできます。

コピーオプションの変更

Fit-to-DVD は、ビデオを圧縮し、標準 4.7 GB の書き込みが可能な DVD に書き込みを行います。圧縮をすることで、ビデオの品質が若干低下する可能性があります。オーディオの品質は変わりません。デフォルトでは、すべてのメニュー、ビデオ、オーディオを含め、ディスク全体がコピーされるように設定されています。特定のビデオ、オーディオ、言語を含む、または除外することもできます。不要なコンテンツを省くことにより、圧縮量を減らし、品質と使用可能なディスク領域を最大にすることができます。

コピーオプションを変更するには：

- 1 「Fit-to-DVD ビデオ圧縮」をクリックして、内容領域にソースを追加します。
- 2 「オプション」ボタンをクリックします。
- 3 「ビデオ」ドロップダウンメニューを選択し、コピーしたいビデオを選択します。
 - **すべて：**ビデオすべてをコピーする場合、選択します。メニューすべてが含まれます。
 - **メイン：**一番長いビデオを 1 本のみコピーする場合に選択します。メニューは含まれません。
 - **カスタム：**収録したい特定のビデオを選択する場合に使うオプションです。メニューは含まれません。



注記：「メイン」、または「カスタム」を選択した場合、コピーされたディスクにはメニューは含まれていませんが、ディスクを挿入すると、自動的に最初にビデオが再生されます。ディスクに複数のビデオが含まれる場合、連続してすべてのビデオが順番に再生されます。DVD プレーヤのタイトルメニューで、ビデオを選択することもできます。

Apple DVD Player ソフトウェアが Mac にインストールされている場合、ビデオのサムネイルの小さな「再生」ボタンをクリックしてビデオをプレビューすることができます。

- **言語：**どの言語を含めるかを選択します。言語の数を最小化することで、DVD にさらに空き容量を提供できるため、ビデオの品質が向上します。
- 4 「ビデオ」ドロップダウンメニューを選択し、コピーしたいビデオを選択します。
- **すべて：**各ビデオにオーディオすべてを含める場合に選択します。
 - **メイン：**各ビデオの主要オーディオ（通常は、最高品質の Dolby Digital）のみをコピーする場合に選択します。次に、ディレクターのコメントなどのオーディオ、または PCM や DTS オーディオなどその他のオーディオフォーマットは除外されます。
-



注記：ビデオのオプションを「カスタム」に設定した場合、オーディオドロップダウンメニューは表示されません。その代わりに、各ビデオのオーディオと言語オプションを選択できます。



注記：オーディオ、または言語を削除すると、コピーしたオーディオ設定メニューとセカンダリオーディオが予定通りに動作しなくなる可能性があります。ただし、メインオーディオとビデオは希望通りに動作します。最高の結果を得るには、「すべて」を選択します。

選択を行った通りに、圧縮容量とビデオ品質インジケータが変更されます。メインムービーのみを含めて、言語とオーディオの数を減少させる場合、インジケータは完成した DVD の品質が向上したことを示します。

- 5 「OK」をクリックし、コピー作業を続けます。

VIDEO_TS コンピレーションの作成

複数の DVD-Video VIDEO_TS フォルダを一枚のディスクに集めた DVD を作成することが可能です。作成したディスクは、セットトップ DVD プレーヤ、または DVD プレーヤを搭載した Macintosh や Windows で再生できます。

一部の VIDEO_TS フォルダは大きすぎるため、標準的な記録容量 4.7 GB の DVD に書き込む必要が生じる場合があります。Toast はこのビデオを圧縮して、標準 DVD に書き込むことができますが、レコーダがデュアルレイヤの書き込み可能な DVD をサポートする場合は、このフォルダからデュアルレイヤ DVD ビデオを作成できます。

これは一枚の DVD-Video ディスクに複数の VIDEO_TS フォルダをおさめたい場合、最適な選択です。

VIDEO_TS コンピレーションディスクを作成するには：

- 1 Toast のメインウィンドウで「ビデオ」をクリックします。
- 2 フォーマット選択メニューで「VIDEO_TS コンピレーション」を選択します。

- 3 VIDEO_TS フォルダを、ご使用のハードディスク、またはメディアブラウザの内容領域にドラッグアンドドロップします。
コピーする情報の要約が内容領域に表示されます。
- 4 「オプション」をクリックして、任意の Fit-to-DVD 設定を選択します。詳細については、48 ページの「コピーオプションの変更」を参照してください。
- 5 書き込み可能なブランク DVD を挿入します。
- 6 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 7 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。
Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

BDMV フォルダディスクの作成

許可を受けた有効な BDMV フォルダを使用して、Blu-ray ビデオディスクを作成できます。BDMV フォルダには Blu-ray ディスクのビデオとオーディオコンテンツ用のメディアファイルが保存されており、ディスクのルートレベルに配置されています。

Toast、またはその他の Blu-ray Disc™ オーサリングアプリケーションで作成された BDMV フォルダがある場合、最適な選択です。

BDMV フォルダディスクを作成するには：

- 1 Toast のメインウィンドウで「ビデオ」をクリックします。
- 2 フォーマット選択メニューで「BDMV フォルダ」を選択します。
- 3 BDMV フォルダを内容領域にドラッグアンドドロップします。
コピーする情報の要約が内容領域に表示されます。
- 4 ブランクの書き込み可能な Blu-ray ディスクを挿入します。ビデオがシングルレイヤのディスクにおさまらない場合、デュアルレイヤ Blu-ray ディスクが必要なソースビデオは圧縮されません。

- 5 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 6 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。
Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

AVCHD アーカイブの作成

AVCHD カメラのコンテンツ全体を 1 枚、または複数のディスクにバックアップして、アーカイブ化するプロジェクトです。AVCHD ビデオカメラは、通常一枚の DVD、または一枚の Blu-ray ディスクに書き込むより多くのビデオを保存できます。

ビデオを複数の DVD、または Blu-ray ディスクに分割するほか、作成した各ディスクを Toast や iMovie などのアプリケーションで AVCHD ビデオソースとして使用することもできます。これらのアプリケーションは、各ディスクを AVCHD ビデオカメラとして扱います。

AVCHD アーカイブを作成するには：

- 1 Toast のメインウィンドウで「ビデオ」をクリックします。
- 2 フォーマット選択メニューで「AVCHD アーカイブ」を選択します。
- 3 AVCHD ビデオカメラを USB 接続でコンピュータに接続し、Mac がビデオにアクセスできるよう適切なモードにセットされているか確認します。ほとんどのビデオカメラで、再生モードがこれにあたります。
ビデオカメラには AC 電源を接続することを推奨します。ビデオカメラ側で AC 電源の接続を要求する場合があります。
- 4 「コピー元」プルダウンメニューから「AVCHD ソース」を選択します。AVCHD ビデオカメラは通常、取り外し可能なバッテリー、またはドライブとして表示されます。
- 5 ブランクの書き込み可能な DVD、または BD ディスクを挿入します。

- 6 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
 - 7 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。
複数のブランクディスクが必要な場合、書き込み開始の前に必要なディスクの枚数が表示されます。
-



注記：ムービーフォルダで「ビデオプレビューの保存」のオプションをオンにできます。これにより、ムービーフォルダ内でビデオを低解像度のプレビューで表示でき、複数のディスクを検索する代わりに、ハードディスクにあるアーカイブ化した AVCHD ビデオを素早く参照することができます。

ビデオを編集

ビデオファイルを変換、またはオンライン共有サイトに公開する場合、プロジェクトを完成させる前に Toast を使って切り取り、トリミング、プレビュー、またはオーディオ効果を適用することができます。

開始ポイントと終了ポイントを調整するには：

- 1 編集したいビデオクリップのそばにある内容領域で「編集」をクリックします。
- 2 ビデオの開始ポイントと終了ポイントを調整するには、タイムラインのすぐ下で、左右の端にある開始マーカーと終了マーカーをドラッグします。
- 3 それぞれのマーカーをドラッグすると、プレビューウィンドウにマーカーの現在の位置にあたるビデオが表示されます。
- 4 時間を入力するか、ウィンドウの開始 / 終了フィールドのそばにある矢印を使用して、微調整を行うことができます。

- 5 開始フィールドのすぐ下にある「リセット」をクリックして、開始マーカーをリセットします。終了マーカーをリセットする場合は、終了フィールドの下にある「リセット」をクリックします。
- 6 「OK」をクリックして編集内容を承認するか、以下の操作を行って、ビデオの中から選択した箇所を削除します。

ビデオから選択した箇所を削除するには：

- 1 クリップの中から選択した箇所を切り取る、または削除するには、タイムラインのトップにある再生ヘッド矢印を削除したいポイントまで動かします。
- 2 「再生」ボタンのすぐ右にある「マーカーを挿入」ボタンをクリックします。
- 3 タイムラインの下部で、再生ヘッドのすぐ下に矢印が2つ表示されます。
- 4 タイムラインの下に挿入された左右の矢印をドラッグし、削除したいビデオの部分が矢印の間に収まるようにします。矢印の間にある削除対象の領域は、再生ヘッドを新しい位置に動かすまで、オレンジ色に表示されます。
- 5 再生ヘッドを新しい位置に動かし、削除したいビデオの領域すべてにマーカーを挿入します。
- 6 ビデオの部分削除を取り消すには、タイムラインで対象となる領域をクリックし、キーボードの「Delete」ボタンを押します。
- 7 編集が完了したら、「OK」をクリックします。



注記： 開始ポイントと終了ポイントを調整、またはビデオから一部分を削除した変更箇所は Toast と完成したプロジェクトでのみ確認できます。編集作業は非破壊的ですので、オリジナルのビデオファイルは安全に保管され、変更を加えられることはありません。

オーディオ効果を適用するには：

- 1 オーディオ効果でエンハンスしたいビデオクリップの横にある内容領域で「AU フィルタ」ボタンをクリックします。
トラックポップアップメニューで選択したビデオクリップとともにサウンドエフェクトウィンドウが表示されます。
- 2 エフェクトポップアップメニューから適用したいエフェクトを選択します。サードパーティのオーディオユニットプラグインをインストールしていない場合は、インストール済みの選択肢が表示されます。サードパーティのオーディオユニットプラグインをインストールしていれば、一覧の中に含まれています。
- 3 エフェクトのオプションを必要に応じて変更します。
- 4 ビデオクリップに2番目、または3番目のエフェクトを適用したい場合は、エフェクト番号2、またはエフェクト番号3のボタンをクリックし、2番目、または3番目のエフェクトを選択します。それぞれの設定を調整します。
- 5 適用したエフェクトをプレビュー表示するには、内容領域でビデオの隣になる「編集」、次に「再生」ボタンをクリックします。適用したオーディオエフェクトが含まれたプレビューが表示されます。
- 6 完了したらサウンドエフェクトウィンドウを閉じて、プロジェクトを完了させます。



注記：オーディオエフェクトを適用したビデオクリップの変更箇所は Toast と完成したプロジェクトでのみ確認できます。編集作業は非破壊的ですので、オリジナルのビデオファイルは安全に保管され、変更を加えられることはありません。

その他の Toast の 機能の利用

章内セクション

ディスク情報の表示	58
ディスクイメージの保存	58
ディスクイメージのマウント	59
ファイルまたはフォルダの比較	60
テンポラリパーティションの作成	61

ディスク情報の表示

レコーダのディスクがブランクか書き込み済みかについて、詳細情報を表示することができます。この機能は、CD、DVD、または Blu-ray レコーダでのみ動作します。



注記：ディスクがお使いのレコーダと互換していることを確認してください。たとえば、DVD レコーダで Blu-ray Disc のディスク情報を表示させることはできません。

ディスク情報を表示するには：

- 1 ブランクディスク、または使用済みディスクをレコーダに挿入します。
- 2 「レコーダ」>「ディスク情報」を選択します。

「ディスク情報」ダイアログが開きます。この「メディア」セクションにはディスクそのものに関する情報（使用可能な空き容量、対応書き込み速度、製造者 ID など）が、「コンテンツと詳細」セクションにはディスクの内容に関する情報（個別のトラックやセッション、CD-TEXT、ISRC コード）が含まれています。11 ページの「ディスクについて」を参照してください。

ディスクイメージの保存

プロジェクトをディスクに書き込む代わりに、それをディスクイメージファイルとして保存することができます。ディスクイメージファイルとは、ハードディスク上に保存される単一のファイルのことで、ここには CD、DVD、または Blu-ray ディスクの作成に必要なすべてのデータやフォーマット情報が含まれています。イメージファイルには、すべてのソースデータも入っています（データへの参照しか入っていない、保存済み Toast プロジェクトと対照的です）。

また、ディスクイメージファイルは、無駄なブランクディスクの使用を防ぐためにも使われます。マウントされたイメージファイルは、コンピュータ上で実際のディスクのように見え、動作します。たとえば、お使いの Mac にある DVD プレーヤを使用して、ディ

スクに書き込むことなく、DVD ビデオプロジェクトのディスクイメージを作成し、出力をプレビューできます。その内容が良ければ、そのイメージファイルをディスクに書き込みます。内容に満足できない場合は、ファイルを消去して、最初からやり直すだけでよく、ブランクメディアを無駄にすることがありません。

さらに、ディスクイメージファイルには、ドライブに挿入したディスクよりも高速にアクセスできるという利点に加え、ノート PC ユーザーにとっては、バッテリーの駆動時間が長くなるという利点もあります。59 ページの「ディスクイメージのマウント」を参照してください。

ディスクイメージは、Toast が対応するすべてのディスクタイプから作成できます。

プロジェクトをイメージファイルとして保存するには：

- 1 通常と同じように、ディスクのプロジェクトを設定します。
- 2 「ファイル」>「ディスクイメージで保存 ...」を選択します。
- 3 ファイル名を入力し、保存先を選択します。

デフォルトでは、Toast イメージマウンタや、MacOSX のディスクユーティリティプログラムと互換性を持つ Mac ディスクイメージファイルが作成されます。(オーディオ CD イメージを除く)。Toast を使用してクロスプラットフォーム (Mac と PC) なディスクイメージファイルを作成することもできます。

ディスクイメージのマウント

以前作成したディスクイメージファイルをマウントすることができます。マウントされたディスクイメージは、光学ドライブに挿入された実際の物理ディスクと同じように動作し、デスクトップ上に表示されます。

Toast をインストールしてから初めてイメージファイルをマウントする場合は、管理者パスワードを入力するよう求められます。一度マウントを実行すれば、それ以降は、イメージファイルのマウントにパスワードを入力する必要がなくなります。管理者権限を持って

いない場合は、Toast でイメージファイルをマウントすることはできません。

メニューからディスクイメージファイルをマウントするには：

- 1 「ユーティリティ」>「ディスクイメージのマウント ...」を選択します。
- 2 開くイメージファイルを選択します。
- 3 「開く」をクリックします。

イメージがマウントされると、デスクトップ上にディスクのアイコンが表示されます。

「マウント」を使用してディスクイメージファイルをマウントするには：

- イメージファイルを Ctrl キーを押しながらクリックし、「サービス」の後、「マウント」を選択します。

イメージをマウントするために、Toast が起動している必要はありません。

ディスクイメージファイルをアンマウントするには：

- デスクトップから Dock のゴミ箱に、ディスクアイコンをドラッグします。



警告：ハードディスクからイメージファイルを削除する必要がでてくるまで、イメージファイルをゴミ箱にドラッグしないでください。

ファイルまたはフォルダの比較

ファイルやフォルダの内容が一致しているかを確認するために、それらを比較することができます。これを行うことにより、元のファイルと作成したコピーが同一内容かを二重にチェックできます。

「比較」は、Toast がディスクの書き込みの後に実行する検証とは違います。「検証」は、ソースデータを書き込んだディスクと比較するだけですが、比較では 2 つのファイルやフォルダ、あるいはハードディスクなど任意の 2 つのデータセットを比較できます。データを比較する場合、比較はそれぞれのファイルを確認しますが、検証はデータのブロックだけを比較します。どちらの結果も正確ですが、比較の方が精密で、消失したファイルや損傷を受けたファイルを的確に示すことができます。

フォーマットまたはファイルを比較するには：

- 1 「ユーティリティ」 > 「比較」を選択します。
- 2 以下のポップアップからフォルダ、またはファイルのどちらを比較するかを選択します。
 - **フォルダを比較**：任意の 2 つのフォルダ、ハードディスク、ディスクを比較します。
 - **ファイルを比較**：任意の 2 つのファイルを比較します。
- 3 「オリジナル」をクリックします。
- 4 比較元となるデータを選択して、「開く」をクリックします。
- 5 「コピー」をクリックします。
- 6 コピー元となるデータを選択して、「開く」をクリックします。
- 7 「開始」をクリックします。

進捗バーで比較作業の状況を確認できます。オリジナルのデータにあり、コピー先から消失しているデータは、リストに表示されます。

テンポラリパーティションの作成

ハードディスク上にテンポラリパーティションを作成して、ディスクに書き込むデータの設定に使用することができます。テンポラリパーティションを使用することにより、データのレイアウトやウインドウのアレンジ / 表示方法のコントロールを高めることができます。

テンポラリパーティションを作成するには：

- 1 「ユーティリティ」>「テンポラリパーティションの作成」を選択します。
- 2 パーティションのサイズを入力します。そのパーティションから作成するディスクに適切なサイズを選択してください。たとえば、CDには650MBが、DVDには4300MBが適当です。
- 3 以下のパーティションのファイルシステムフォーマットを選択します。
 - **Mac OS 拡張：**Mac OS 8.1 以上 (Mac OS X システムも含む) で使用するディスクの場合は、このオプションが最適です。
 - **Mac OS 標準：**Mac OS 8 以下が起動するコンピュータで使用するディスクの場合に、選択します。
 - **UNIX ファイルシステム：**UNIX オペレーティングシステムで使用するディスクの場合に、選択します。
- 4 「OK」をクリックします。

Toast では、デスクトップでパーティションをマウントします。このパーティションに、ファイルやフォルダを追加することができます。

このパーティションをディスクに書き込むには、「ディスクコピー」フォーマットを使用して、「コピー元」メニューからパーティションを選択します。109 ページの「ディスクのコピー」を参照してください。

また、テンポラリパーティションは、カスタムハイブリッドおよび Mac ボリュームディスクにも使用できます。81 ページの「カスタムハイブリッドディスクの作成」または 83 ページの「Mac ボリュームディスクの作成」を参照してください。

データディスクの作成



章内セクション

データディスクとは	64
データディスクの種類	64
データディスク作成の概要	65
複数のレコーダにプロジェクトを書き込む	66
Mac 専用ディスクの作成	68
Mac と PC ディスクの作成	75
DVD-ROM ディスクの作成	80
カスタムハイブリッドディスクの作成	81
Mac ボリュームディスクの作成	83
写真ディスクの作成	85

データディスクとは

データディスクとは、ファイルやフォルダが入っている CD、DVD または Blu-ray ディスクのことです。データディスクは、Mac や PC などのコンピュータで使用するようになられています。データディスクを使用して重要な情報のバックアップを取ったり、写真を保存したり、友人や家族とファイルを共有することができます。

データディスクの種類

Toast では様々なデータディスクが作成できます。ニーズに最も合うディスクを選択してください。

- **Mac 専用：**Macintosh コンピュータでのみ使用できるディスクです。Windows コンピュータでディスクのコンテンツにアクセスする必要がある場合は、データを保存するための最適な選択です。68 ページの「*Mac 専用ディスクの作成*」を参照してください。
- **Mac と PC：**このディスクは、Macintosh または Windows コンピュータのいずれかで使用することができます。データを保存して PC ユーザーと共有する場合に、最適な選択です。75 ページの「*Mac と PC ディスクの作成*」を参照してください。

注記：「Mac 専用」と「Mac & PC 用」は、いずれのフォーマットもデータスパニング機能をサポートしており、カスタムアイコンを定義することができます。

- **DVD-ROM：**有効な DVD ビデオコンテンツが収容されている場合は、DVD プレーヤーだけでなく、Macintosh または Windows コンピュータ上で使用することができます。80 ページの「*DVD-ROM ディスクの作成*」を参照してください。
- **カスタムハイブリッド：**Macintosh または Windows コンピュータのいずれかで使用することができるディスクで、プロフェッショナルのための強力なレイアウトカスタマイズ機能を備えて

います。81 ページの「カスタムハイブリッドディスクの作成」を参照してください。

- **Mac ボリューム：**このディスクは、Macintosh コンピュータ上のみで 사용할 ことができ、データソースとして有効なボリュームのファイルが必要です。83 ページの「Mac ボリュームディスクの作成」を参照してください。
- **写真ディスク：**Macintosh または Windows コンピュータのいずれでも使用することができるディスクで、写真をアーカイブ化して共有することができます。イメージをフルクオリティで保存し、Mac 上で全画面のスライドショーを表示したり、iPhoto ライブラリに直接インポートすることができます。新しいソフトウェアをインストールする必要はありません。85 ページの「写真ディスクの作成」を参照してください。

注記：Toast を起動すると、最も一般的に使用されるプロジェクトが Toast アシスタントに表示されます。すべてのプロジェクトを表示するには、アシスタントの右上にあるドロップダウンメニューで「プロジェクトを詳細表示」を選択します。

データディスク作成の概要

このセクションでは、Toast を使用したデータディスク作成の基本的なプロセスを説明しています。

データディスクを作成するには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「データ」をクリックします。
- 2 ディスクフォーマットを選択します。たとえば、「Mac 専用」を選択します。
- 3 必要に応じて、オプションの設定を選択します。
- 4 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、ファイルとフォルダをディスクに

追加します。メディアブラウザでファイルまたはフォルダを選択し、ブラウザの下部にある「追加」ボタンをクリックします。

- 5 **オプション**：また、項目の並べ替えや名前の変更、内容領域からの削除を行うことも可能です。73 ページの「データコンテンツの使用」を参照してください。
- 6 ブランクの書き込み可能な CD、DVD、または Blu-ray ディスクを挿入します。
- 7 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 8 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

注記：データプロジェクトは DiscCatalogMaker RE で自動的にカタログ化され、ディスクコンテンツのトラッキングや検索も簡単に行えます。このオプションは、ディスクの書き込みを開始すると表示されるレコーダ設定ダイアログの「詳細」タブでオフにできます。

複数のレコーダにプロジェクトを書き込む

Toast は、複数の CD、DVD、Blu-ray レコーダにプロジェクトを同時に書き込みできるようになりました。ここでの手順は、データ、オーディオ、ビデオ、コピープロジェクトなど、複数レコーダのサポートが使用できるすべてのディスクプロジェクトに適用されます。

複数のレコーダにプロジェクトを書き込むには：

- 1 プロジェクトを準備し、書き込みを開始できる状態になったら、画面下部の保存先ポップアップメニューで「複数のレコーダを選択」を選択します。
- 2 赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

- 3 複数のレコーダ設定ウィンドウが表示されます。プロジェクトの書き込みに使用する各レコーダについて：
 - a ドライブ名の隣にあるチェックボックスをクリックし、チェックマークが見えるようにします。
 - b 適切な種類のディスク（CD、DVD、または Blu-ray ディスク）をドライブに挿入します。ドライブトレイを開く場合は、画面の「取り出し」ボタンを使用します。
 - c ブランクのディスクが挿入されているか、各ドライブの状態を確認します。

注記：各ドライブには同じ種類のディスクを使用してください。CD および DVD ディスクのいずれにもプロジェクトが収まるとしても、あるドライブでは CD を書き込み、別のドライブでは DVD を書き込むことはできません。すべてのドライブに同じブランドとモデルのディスクを使用することをおすすめします。

- 4 **オプション：**各ドライブにプロジェクトを書き込む際の書き込み速度を選択します。選択したドライブ間で共通する速度しか選択できません。
- 5 赤の「書き込み」ボタンをクリックして、プロジェクトの書き込みを開始します。

注記：システム、使用するドライブの数、コンピュータへの接続方法（内蔵、USB、FireWire）によって、パフォーマンスが異なります。構成が異なる複数のレコーダに同時に書き込むと、書き込み速度が低下し、各ディスクを別々に書き込む場合より時間がかかる可能性があります。

Mac 専用ディスクの作成

この種類のディスクには、あらゆるファイルやフォルダのみを保存することができますが、Macintosh コンピュータでしか使用できません。また、データスパニング、圧縮、暗号化、カスタムアイコン、および背景などの機能をサポートしています。Windows コンピュータでディスクのコンテンツにアクセスする必要がある場合は、データを保存するための最適な選択です。

Mac 専用ディスクを作成するには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「データ」をクリックします。
- 2 アシスタントで「Mac 専用」をダブルクリックします。メインの Toast ウィンドウのフォーマット選択メニューから「Mac 専用」を選択します。
- 3 必要であれば「オプション」ボタンをクリックし、オプションのディスク設定を表示します。
 - **スパン中ファイルを分割しない：**1 枚のディスクに収まらない場合のみ、ファイルを分割します。
 - **ディスクウィンドウの自動オープン：**Macintosh に挿入されたときに、ディスクのメインウィンドウを自動的に開くようにする場合は、このオプションを選択します。
 - **圧縮を使用：**書き込む前にディスク内容を圧縮する場合は、このオプションを選択します。
 - **暗号を使用：**暗号化し、このディスク内容にアクセスするときにパスワードを要求する場合は、このオプションを選択します。

70 ページの「**圧縮と暗号化**」を参照してください。
- 4 追加オプション設定は「詳細」をクリックします：
 - **ディスク名：**ディスクの名前を入力します。
 - **アイコン：**ディスクのカスタムアイコンを選択します (71 ページの「**カスタムアイコンと背景**」を参照してください)。

- **ディスク表示**：ディスクアイコン、一覧、またはブラウザのデフォルトファインダビューを選択します。
 - **バックグラウンド**：ディスクのカスタム背景色または写真を選択します (71 ページの「カスタムアイコンと背景」を参照してください)。
- 5 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、ファイルとフォルダをディスクに追加します。
 - 6 書き込み可能なブランクディスクを挿入します。
 - 7 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
 - 8 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。
 - **マルチセッション CD**：データ CD を作成し、後で追加のデータセッションを書き込めるように、ディスクを「オープン」な状態にしておきたい場合、画面下部の「取り出し」ボタンの近くにある「設定」ボタンをクリックします。「高度な設定」タブをクリックして、書き込みセッションを選択します。容量を超えるか、ディスクの書き込みを「閉じる」までは、続けて CD にデータを追加することができます。各書き込みセッションは、デスクトップ上にユニークなディスクアイコンとして表示されます。これは、Mac OS の通常の動作であり、Toast では制御していません。マルチセッション DVD または Blu-ray ディスクは作成できません。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

書き込み中のファイルとフォルダが 1 枚のディスクの容量を超える場合は、Toast によって、このデータが複数のディスクへ自動的にスパンされます。77 ページの「ディスクのスパンニング」を参照してください。

圧縮と暗号化

複数のディスクにスパンされない Mac 専用のデータディスクに書き込んでいる場合は、書き込み前に内容を圧縮して暗号化することができます。Mac OS X システムではどの場合も、ディスク内容にアクセスすることができます。Toast では、内容を解凍または復号化する必要はありません。

Mac 専用ディスクを圧縮するには：

- 1 ディスクを通常通りに準備します。68 ページの「Mac 専用ディスクの作成」を参照してください。
- 2 必要に応じて、Toast ウィンドウの右上にある「オプション」ボタンをクリックして、オプションパネルを開きます。「圧縮を使用」をクリックします。
- 3 赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

内容が1つのファイルに圧縮され、ディスクに書き込まれます。

圧縮ファイルにアクセスするには：

- 1 ディスクをドライブに挿入します。
ディスクには、圧縮された内容の入った1つのファイルがあります。
- 2 圧縮ファイルをダブルクリックします。
ファイルはデスクトップに解凍されます。

Mac 専用ディスクを暗号化するには：

- 1 ディスクを通常通りに準備します。68 ページの「Mac 専用ディスクの作成」を参照してください。
- 2 必要に応じて、Toast ウィンドウの右上にある「オプション」ボタンをクリックして、オプションパネルを開きます。「暗号を使用」をクリックします。
- 3 赤の「書き込み」ボタンをクリックします。
- 4 ダイアログが表示されたら、パスワードを入力して「OK」をクリックします。

警告: パスワードは安全な場所に保管してください。パスワードを忘れた場合は、ディスクのデータにアクセスできなくなります。

内容は 128 ビットで 1 つのファイルに暗号化され、ディスクに書き込まれます。

暗号化されたディスクにアクセスするには：

- 1 ディスクをドライブに挿入します。
ディスクには、ディスクの内容を収めた 1 つのファイルがあります。
- 2 暗号化されたファイルをダブルクリックします。
- 3 ダイアログが表示されたら、パスワードを入力して「OK」をクリックします。

ファイルはデスクトップ上で暗号解除されます。

カスタムアイコンと背景

Mac 専用または Mac と PC 用のデータディスクを作成する場合は、一般的なディスクではなくカスタムアイコンを設定し、メインウィンドウの背景に、標準の白色の代わりに特別な色や画像を選択することができます。

注記: カスタム背景はディスクを Mac で表示した場合のみ表示されます。

カスタムアイコンを設定するには：

- 1 ディスクを通常通りに準備します。68 ページの「Mac 専用ディスクの作成」、または 75 ページの「Mac と PC ディスクの作成」を参照してください。

- 2 必要に応じて、Toast ウィンドウの右上にある「オプション」ボタンをクリックして、オプションパネルを開きます。「詳細」をクリックします。

「データディスク設定」ダイアログボックスが表示され、現在のディスクアイコンが表示されます。

- 3 ディスクアイコンを変更します。以下の2つの方法を実行することができます。
 - **写真または他の画像ファイルを追加：**ご使用のハードディスク、またはメディアブラウザから、写真または他の画像ファイルを Toast のデータディスク設定ダイアログの現在のディスクアイコンにドラッグアンドドロップします。
 - **既存アイコンをご使用のハードディスクのファイルまたはフォルダからコピー：**コピーするアイコンの入ったファイルまたはフォルダを選択し、「ファイル」「情報の取得」を選択します。ファインダから情報の取得ウィンドウが表示されます。ウィンドウでアイコンを選択して、「編集」>「コピー」を選択します。Toast のデータディスク設定ダイアログで、現在のディスクアイコンをクリックし、「編集」>「貼り付け」を選択します。

- 4 「OK」をクリックします。

- 5 赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

ディスクは、カスタムアイコンで書き込まれます。

カスタム背景を設定するには：

- 1 ディスクを通常通りに準備します。68 ページの「Mac 専用ディスクの作成」、または 75 ページの「Mac と PC ディスクの作成」を参照してください。
- 2 必要に応じて、Toast ウィンドウの右上にある「オプション」ボタンをクリックして、オプションパネルを開きます。「詳細」をクリックします。

「データディスク設定」ダイアログが表示され、現在のディスクの背景が表示されます。

3 背景を変更：

- **カラー：**色を選択し、カラーパレットに色付きの四角形をクリックします。カラーパレットの上部には複数のボタンがあり、クレヨンの箱などの色のオプションが表示されます。希望する背景の色を選択して、「OK」をクリックします。
- **写真：**写真を選択し、選択をクリックして、写真またはその他の画像ファイルをご使用のハードディスクから選択します。希望する背景の写真を選択して、「選択」をクリックします。

4 「OK」をクリックします。

5 赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

ディスクは、カスタムの背景で書き込まれます。

データコンテンツの使用

ファイルまたはフォルダを内容領域に追加した後、Mac 専用または Mac と PC 用のデータディスクを作成する場合は、新規サブフォルダを作成する、順序を再配列する、項目の名前を変更する、および項目を削除するなど、さまざまな方法でこれらを整理することができます。

内容領域のファイルとフォルダは、元のソースデータへの参照に過ぎません。内容領域で変更を行っても、ご使用のハードディスク上のソースデータには影響しません。

たとえば、Toast ウィンドウのファイル名を変更しても、ハードディスク上のファイル名は変更されず、作成が完了したディスク上のファイルのみが名前変更されます。Toast ウィンドウからファイル名を削除しても、ハードディスク上からファイルは削除されず、作成が完了したディスク上のファイルのみが削除されます。

内容領域で新規フォルダを作成するには：

- Toast ウィンドウの下部の「新規フォルダ」ボタンをクリックします。

内容領域でファイルまたはフォルダを並べ替えるには：

1 並べ替えるファイルまたはフォルダを選択します。

- 2 選択されたファイルまたはフォルダを、内容領域の新しい場所にドラッグアンドドロップします。

内容領域でファイルまたはフォルダの名前を変更するには：

- 1 ファイルまたはフォルダでダブルクリックするか、ファイルまたはフォルダを選択し、Toast ウィンドウの下部の「情報」をクリックします。
- 2 新しい名前を入力します。
- 3 「OK」をクリックします。

内容領域の名前をクリックして、数秒待つ方法もあります。数分後、名前はハイライト表示になり、編集可能になります。新しい名前を入力して Enter キーを押し、変更を受け付けるか、Tab を押して次の項目を変更します。

内容領域からファイルまたはフォルダを削除するには：

- 1 削除するファイルまたはフォルダを選択します。

ヒント：すべてのファイルを選択するには、「編集」>「すべてを選択」を選択します。

- 2 選択されたファイルまたはフォルダは、以下の任意の方法で削除します。
 - 「ファイルを削除」ボタンをクリックします。
 - 「Delete」キーを押します。
 - 「編集」>「消去」を選択します。

内容領域からファイルまたはフォルダを追加するには：

- 1 「ファイルを追加」ボタンをクリックします。
- 2 ブラウズウィンドウからファイルを選択します。
- 3 「開く」をクリックします。

Mac と PC ディスクの作成

このディスクは、Macintosh または Windows コンピュータのいずれかでも使用することができます。これは、大半のコンピュータユーザーとファイルおよびフォルダを共有するための最良の選択です。

Mac と PC 用のディスクを作成するには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「データ」をクリックします。
- 2 アシスタントで「Mac & PC」をダブルクリックします。Toast メインウィンドウのフォーマット選択メニューから「Mac & PC」を選択します。
- 3 必要であれば「オプション」ボタンをクリックし、オプションのディスク設定を表示します。
 - **スパン中ファイルを分割しない：**1 枚のディスクに収まらない場合のみ、ファイルを分割します。
 - **ディスクウィンドウの自動オープン：**Macintosh に挿入されたときに、ディスクのメインウィンドウを自動的に開くようにする場合は、このオプションを選択します。
- 4 追加オプション設定は「詳細」をクリックします：
 - **ディスク名：**ディスクの名前を入力します。
 - **アイコン：**ディスクのカスタムアイコンを選択します (71 ページの「カスタムアイコンと背景」を参照してください)。
 - **ディスク表示：**ディスクアイコン、一覧、またはブラウザのデフォルト Finder ビューを選択します。
 - **バックグラウンド：**ディスクのカスタム背景色または写真を選択します (71 ページの「カスタムアイコンと背景」を参照してください)。
- 5 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、ファイルとフォルダをディスクに追加します。

- 6 Mac と PC のチェックボックスをクリックして、Mac および PC 上にどのファイルとフォルダが表示されるかを選択します。デフォルトでは、両方にすべてのファイルとフォルダが含まれています。
1 つのフォルダを除外する場合、フォルダの内容すべても自動的に除外されます。
- 7 書き込み可能なブランクディスクを挿入します。
- 8 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 9 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

自動再生を有効にする

Mac と PC 用データディスクを作成する際、Windows で実行可能なファイルを選択して、ディスクを Windows PC に挿入すると自動的に起動するよう設定できます。（一部のケースでは、実行可能なファイルを起動する前に、ユーザーが許可を得る必要があります）

注記： この設定は Mac で使用する際に影響を受けます。

自動起動する実行可能ファイルを選択するには：

- 1 ディスクを通常通りに準備します。75 ページの「Mac と PC ディスクの作成」を参照してください。
- 2 追加オプション設定は「詳細」をクリックします。
- 3 自動再生ドロップダウンメニューから、ディスクを Windows PC に挿入した時に起動させたいファイルを選択します。

注記： 使用できるのは Windows PC (.EXE、.COM、または BAT などの拡張子のあるファイル) で実行可能なファイルのみです。

- 4 「OK」をクリックします。
- 5 ディスクに書き込みます。

完成したディスクには PC でのみ表示される「autorun.inf」と呼ばれる隠しファイルが入っています。このファイルには、選択した実行可能ファイルを Windows PC で起動するという命令が含まれています。

ディスクのスパニング

Mac 専用、または Mac と PC データディスクのいずれかを作成する場合、1 枚のディスクへの書き込み容量を超えていても、大容量のファイルとフォルダを書き込むことができます。この場合、Toast が必要なブランクディスクの枚数をダイアログに表示し、自動的に複数のディスクにデータをスパンします。

完了したディスクのグループは、ディスクセットと呼びます。セットの各ディスクには、セットの各ファイルとフォルダの内容と場所のインデックスが付けられています。

ディスクをスパンするには：

- 1 ディスクを通常通りに準備します。68 ページの「Mac 専用ディスクの作成」、または 75 ページの「Mac と PC ディスクの作成」を参照してください。

内容領域にデータを追加すると、書き込みに必要なディスクの枚数に関する情報が表示されます。容量インジケータの隣にある「ディスク容量」ドロップダウンメニューをクリックして、CD、DVD、または Blu-ray ディスクに保存する情報量を調整します。

2 ディスクに書き込みます。

書き込み中に未使用のディスクを挿入するよう指示するダイアログが表示されます。

ディスクをスパンしない：

- データを複数のディスクにスパンしない場合は、Toast ウィンドウの左側に 1 枚のディスクにおさまることが表示されるまで、ファイルまたはフォルダを内容領域から削除します。

スパンしたディスクセットを復旧する

Mac 専用の各ディスクには、Roxio Restore というコンパクトなソフトウェアアプリケーションも含まれます。Mac と PC 用ディスクセットの各ディスクには、Mac & PC バージョンの Roxio Restore が入っています。

Roxio Restore は、個別ファイルやフォルダ、またはディスクセット全体の復旧を簡単に実行できます。Mac バージョンの Roxio Restore は Mac OS X v 10.5 以降で起動し、PC バージョンは Windows XP、Vista、または Windows 7 で起動します。

注記： ファイルを復旧するコンピュータに Toast をインストールしておく必要はありません。

ファイルの中には 1 つのディスクの容量を超えるものもあり、複数のファイルに分割されます。Roxio Restore ソフトウェアは、これらのファイルにも一緒に、バックで自動的に収容されます。

ファイルまたはフォルダを復旧するには (Mac OS X v10.5 以降を使用)：

- 1 セットから任意のディスクを Macintosh コンピュータに挿入します。

Roxio Restore アプリケーションと、ディスクセットのデータの一部を含むフォルダを確認します。

2 Roxio Restore アプリケーションを起動します。

ディスクセットのすべてのフォルダとファイルのディレクトリが、ディスクを書き込んだ状態と同様の順序と階層で表示されます。

3 復旧させるファイルまたはフォルダを参照し、項目を選択して、「復旧」をクリックします。

必要なファイルまたはフォルダが現在のディスクにない場合は、Roxio Restore によって正しいディスクを挿入するように求められます。ディスクセット全体を復旧させることもできます。

ファイルまたはフォルダを復旧するには (旧バージョンの Mac OS X を使用) :

1 セットから任意のディスクを Macintosh コンピュータに挿入します。

セットのデータの一部を含むフォルダが表示されます。

2 復旧したいファイルを検索し、ハードディスクの好きな場所までドラッグします。

ヒント: Mac OS X の端末から「cat」コマンドを使用すると、分割ファイルを手動で再結合することができます。詳細については、Roxio の web サイトのサポートを参照してください。「ヘルプ」「製品サポート」を選択して、ナリッジベースの「スパンしたディスクセットからデータを抽出する方法」という記事を検索します。

Mac & PC ディスクセットからファイルとフォルダを復旧するには (Windows を使用) :

1 セットから任意のディスクを Windows XP 以降が起動している PC に挿入します。

設定によっては、Roxio Restore が自動的に開く場合もあります。Windows 自動再生ダイアログボックスが開いたら、Run RRLauncher.exe をクリックして Roxio Restore を開きます。ディスクセットのすべてのフォルダとファイルのディレクトリが、ディスクを書き込んだ状態と同様の順序と階層で表示されます。

ヒント: アプリケーションが自動的に起動しない場合、ディスクドライブを参照して、Roxio Restore をダブルクリックします。

- 2 復旧させるファイルまたはフォルダを参照し、項目を選択して、「復旧」をクリックします。

必要なファイルまたはフォルダが現在のディスクにない場合は、Roxio Restore によって正しいディスクを挿入するように求められます。ディスクセット全体を復旧させることもできます。

DVD-ROM ディスクの作成

このディスクは Macintosh、または Windows コンピュータのいずれでも使用できます。有効な DVD-Video コンテンツが含まれている場合、セットトップの DVD プレーヤで使用することもできます。このディスクのフォーマットは、VIDEO_TS フォルダがあり、追加の DVD-ROM データコンテンツを追加する場合に最適です。

VIDEO_TS フォルダがあり、DVD ビデオを作成する (オプションでフォルダを圧縮して DVD に適合させる) 場合は、VIDEO_TS フォルダフォーマットを使用する必要があります。46 ページの「VIDEO_TS フォルダからの DVD の作成」を参照してください。

DVD-ROM ディスクを作成するには:

- 1 Toast のメインウィンドウで「データ」をクリックします。
- 2 フォーマット選択メニューで「DVD-ROM」(UDF) を選択します。
- 3 有効な VIDEO_TS フォルダを、ご使用のハードディスクの内容領域にドラッグアンドドロップします。

Toast は、セットトップ DVD プレーヤと互換性を持たせるため、書き込み中に、空の AUDIO_TS フォルダをディスクに自動的に追加します。

- 4 内容領域の上部の DVD-ROM の下にある小さいディスクアイコンをダブルクリックし、ディスクの名前を変更します。デフォルトでは、UDF ディスクは MY_DISC に変更されます。

5 書き込み可能なブランク DVD を挿入します。

注記：未使用の書き込み可能な CD を挿入して、ミニ DVD を作成することもできます。容量は DVD よりかなり小さく、セットトップ DVD プレーヤーでは再生されませんが、Mac や PC では再生されるはずです。

- 6 赤の「書き込み」ボタンをクリックして、リストからレコーダ、および「コピー枚数」などの書き込み設定オプションを選択します。
- 7 「書き込み」をクリックして、作業を続けます。

Toast では、ディスクへの書き込み中に進捗バーとステータス情報が表示されます。ディスクは、UDF バージョン 1.0.2 で書き込まれます。

カスタムハイブリッドディスクの作成

このディスクは、Macintosh または Windows コンピュータのいずれかで使用することができ、以下のようなプロフェッショナルのための強力なレイアウトカスタマイズ機能を備えています。

- 特定の Macintosh データは、Macintosh ユーザーだけに表示されます。
- 特定の Windows データは、Windows ユーザーだけに表示されます。
- Macintosh と Windows 両方のユーザーで、いくつかのデータを共有することができます。

シンプルなクロスプラットフォームのディスクを作成して、Macintosh または Windows コンピュータで使用する場合は、Mac と PC フォーマットを使用します。75 ページの「Mac と PC ディスクの作成」を参照してください。

カスタムハイブリッドディスクを作成するには：

- 1 Toast のメインウィンドウで「データ」をクリックします。
- 2 フォーマット選択メニューで「カスタムハイブリッド」を選択します。
- 3 以下の操作を行って、ディスクに Macintosh ファイルとフォルダを準備します。
 - ご使用のハードディスクに一時的なパーティションを作成します。61 ページの「テンポラリパーティションの作成」を参照してください。
 - 新しい一時パーティションにファイルをドラッグアンドドロップして、ファイルを追加します。ここで追加する項目は、ディスクの ISO 部分にも含まれていない限り、Macintosh コンピュータ上でのみ表示されます。この場合、これら項目は、Macintosh と Windows コンピュータの両方で表示されます。

Macintosh ファイルとフォルダは、ウィンドウのサイズ、位置、および「表示」メニューの設定を含め、正確にディスクにコピーされます。ボリュームを準備する際は十分注意してください。

- 4 「Mac を選択」をクリックして、Macintosh の部分をディスクに追加します。
- 5 「テンポラリパーティション」をダイアログから選択して、「OK」をクリックします。
- 6 「ISO を選択」をクリックして、Windows ファイルとフォルダをディスクに追加します。
- 7 ファイルとフォルダをファイルエリアにドラッグアンドドロップします。

ここで追加する項目は、ディスクの Macintosh 部分にも含まれる項目を追加しない限り、Windows コンピュータ上にのみ表示されます。この場合、これらの項目は、ディスクに一度書き込まれていても、Macintosh と Windows コンピュータの両方に表示されます。

- 8 「設定」をクリックして、ディスクの名称設定に Joliet (MS-DOS + Windows) を選択し、Apple の拡張機能を使用を選択します。
- 9 「完了」をクリックします。
- 10 書き込み可能なブランクの CD、DVD、または Blu-ray ディスクを挿入します。
- 11 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 12 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

ディスクをプレビュー

ディスクイメージのとおり保存し、Toast Image マウンタを使用して書き込みを行う前に、カスタムハイブリッドの構造とレイアウトをプレビューすることができます。

ディスクをプレビューするには：

- 1 書き込む代わりに、「ファイル」>「ディスクイメージで保存」を選択します。
- 2 「ユーティリティ」>「ディスクイメージのマウント ...」を選択します。

2つのディスクが、デスクトップ上にマウントされます。1つは Macintosh 部分用で、1つは ISO 部分用です。

Mac ボリュームディスクの作成

このディスクは、Macintosh コンピュータ上のみで使用することができ、データソースとして有効なボリュームのファイルが必要です。Mac ボリュームを使用して、ボリューム全体(ハードディスク、パーティションなど)をそのままの状態に正確にディスクにコピーします。起動可能な Mac ボリュームディスクを作成することはできません。

Macintosh コンピュータ上で使用するシンプルなディスクを作成する場合は、Mac 専用フォーマットを使用します。68 ページの「Mac 専用ディスクの作成」を参照してください。

Mac ボリュームディスクを作成するには：

- 1 Toast のメインウィンドウで「データ」をクリックします。
- 2 フォーマット選択メニューで「Mac ボリューム」を選択します。
- 3 以下の操作を行って、ディスクに Macintosh ファイルとフォルダを準備します。
 - ご使用のハードディスクに一時的なパーティションを作成します。61 ページの「テンポラリパーティションの作成」を参照してください。
 - 新しい一時パーティションにファイルをドラッグアンドドロップして、ファイルを追加します。

Macintosh ファイルとフォルダは、ウィンドウのサイズ、位置、および「表示」メニューの設定を含め、正確にディスクにコピーされます。ボリュームを準備する際は十分注意してください。

- 4 「選択」をクリックして、Macintosh の部分をディスクに追加します。
- 5 「テンポラリパーティション」をダイアログから選択して、「OK」をクリックします。

「書き込み ok」というコメントのローカルディスクボリュームを選択することもできます。その他のボリュームは、リモートになるか、ディスクには大きすぎます。

- **オンザフライ最適化：**Toast にこのオプションを選択して、書き込み前にデータが自動的にデフラグされ、ディスクの編成されるようにします。これは、Mac OS の標準ボリュームにのみ推奨されます。Mac OS 拡張ボリューム用オプションを選択すると、標準ボリュームが作成されます。長いファイル名と拡張子の属性はすべて失われます。
- 6 書き込み可能なブランクの CD、DVD、または Blu-ray ディスクを挿入します。

- 7 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 8 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

写真ディスクの作成

このディスクは、Macintosh または Windows コンピュータのいずれでも使用することができます。多目的な写真ディスクを作成し、次のタスク実行に使用できます：

- オリジナルの写真をアーカイブ化する – 変換に時間がかかったり、品質が失われることはありません。
- 特殊なソフトウェアをインストールせずに、高品質なスライドショーを自動的に生成し、Mac に iPhoto ライブラリをインポートします。
- Mac または PC どちらのユーザーでも標準フォーマットで写真が共有できますので、印刷のキオスクや写真館で使用できます。

写真ディスクを作成するには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「データ」をクリックします。
- 2 アシスタントで「写真 ディスク」をダブルクリックします。Toast のメインウィンドウのフォーマット選択メニューから「写真 Disc」を選択します。
- 3 必要であれば「オプション」ボタンをクリックし、オプションのディスク設定を選択します。
- 4 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、写真をディスクに追加します。
- 5 ブランクの書き込み可能な CD、DVD、または Blu-ray ディスクを挿入します。

注記：メディアブラウザから iPhoto、Aperture、Lightroom ライブラリのフォトに簡単にアクセスできます。

- 6 **オプション：**画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 7 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

イメージをスライドショーとして再生するには (Mac OS X v10.4 を使用)：

- 1 写真ディスクを Mac コンピュータに挿入します。
ディスクフォルダが開きます。
- 2 スライドショーアイコンをダブルクリックし、スライドショーが開始します。

注記：スライドショーを再生するのに、Toast をコンピュータにインストールする必要はありません。

イメージをスライドショーとして再生するには (Windows XP を使用)：

- 1 写真ディスクを Windows XP が起動している PC に挿入します。
Windows でディスクが認識されると、Windows Picture と Fax Viewer が開きます。
- 2 「スライドショーを開始」ボタンをクリックします。

イメージをスライドショーとして再生するには (Windows Vista または Windows 7 を使用)：

- 1 写真ディスクを Windows Vista または Windows 7 が起動している PC に挿入します。

- 2 設定によっては、Windows Photo Viewer が自動的に開く場合があります。Windows 自動再生ダイアログボックスが開いたら、autorun.bat をクリックして Windows Photo Viewer を開きます。
- 3 「スライドショーを再生」ボタンをクリックします。

Toast Dynamic Writing の使用

Toast Dynamic Writing があれば、他の取り外し可能なストレージデバイス（外付けハードディスクドライブや USB フラッシュドライブなど）と同様、Blu-ray 書き込み可能ディスク (BD-RE) に対応できるようになります。デスクトップにあるディスクアイコンにファイルをドラッグアンドドロップするだけで書き込みができます。ディスクからファイルをドラッグして削除することもできます。

Toast Dynamic Writing で BD-RE メディアに書き込むには：

- 1 Toast を起動します。
- 2 ブランク BD-RE ディスクを Blu-ray レコーダに挿入します。
- 3 「レコーダ」>「Dynamic Writing 用に Blu-ray ディスクをフォーマット」を選択します。

ディスクをフォーマットするよう指示するダイアログが表示されます。

注記： ディスクに保存されているデータはすべて消去されます。

- 4 「フォーマット」ボタンをクリックして操作を続行します。
フォーマットが完了したら、Blu-ray ディスクアイコンがデスクトップ上に表示されます。
- 5 ファイルやフォルダをディスクに書き込むには、ディスクアイコンにドラッグします。
- 6 ファイルやフォルダをディスクから消去するには、ディスクからゴミ箱にドラッグします。

注記：ディスクを一旦取り出して、後でデータを追加することもできます。

ヒント：一度ディスクをフォーマットしておけば、Toast が起動していない場合でも、Toast Dynamic Writing でデータを書き込むことができます。

オーディオディスクの 作成

章内セクション

オーディオディスクとは	90
オーディオディスクの種類	90
オーディオディスク作成の概要	91
オーディオ CD の作成	92
ミュージック DVD の作成	96
MP3 ディスクの作成	102
エンハンスド CD の作成	103
ミックスモード CD の作成	105

オーディオディスクとは

オーディオディスクとは、オーディオファイルの入ったCDまたはDVDのことです。オーディオディスクは、ホームステレオやカーステレオ、セットトップDVDプレーヤだけでなく、MacintoshやWindowsコンピュータでも再生できます。

オーディオディスクの種類

Toastでは、以下のように、他のMac用ライティングソフトウェアに比べ豊富な種類のオーディオディスクを作成できます。

- **オーディオ CD**：このCDは、ほとんどのホームステレオやカーステレオのCDプレーヤ、セットトップDVDプレーヤ、コンピュータで再生できます。これは、音楽ショップで購入する市販の標準CDに似ています。CDプレーヤで再生する場合は、このディスクが最適です。92ページの「オーディオCDの作成」を参照してください。
- **ミュージック DVD**：このDVDは、セットトップDVDプレーヤ、またはDVDプレーヤ付きのMacintoshやWindowsコンピュータで再生できます。ミュージックDVDには、50時間分以上の音楽に加え、曲選択用のフル機能のナビゲーションメニューも入ります。DVDプレーヤで再生する場合は、このディスクが最適です。96ページの「ミュージックDVDの作成」を参照してください。
- **MP3 ディスク**：このCDまたはDVDは、ホームステレオやカーステレオ、MP3 ディスクプレーヤ、一部のセットトップDVDプレーヤ、ほとんどのMacintoshやWindowsコンピュータで再生できます。MP3 ディスクは、オーディオCDに比べ再生時間が長いですが、汎用性は低くなります。102ページの「MP3 ディスクの作成」を参照してください。
- **エンハンストオーディオ CD**：このCDは、ホームステレオやカーステレオのCDプレーヤで再生できます。このディスクには、データコンテンツを追加して、MacintoshやWindowsコンピュータでアクセスすることができます。103ページの「エンハンストCDの作成」を参照してください。

- **ミックスモード CD**：この CD は、Macintosh や Windows コンピュータで再生できます。旧型の CD-ROM プレーヤと互換性がありますが、ほとんど使用されていません。エンハンスド CD は、こうしたディスクタイプに最適です。詳細は、105 ページの「ミックスモード CD の作成」を参照してください。

オーディオディスク作成の概要

このセクションでは、Toast でオーディオディスクを作成するための基本的なプロセスについて説明します。

ヒント：ディスクは一回の操作で複数のレコーダに書き込むことができます。詳細については、66 ページの「複数のレコーダにプロジェクトを書き込む」を参照してください。

オーディオディスクを作成するには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「オーディオ」をクリックします。
- 2 ディスクフォーマットを選択します。たとえば、「オーディオ CD」を選択します。
- 3 必要に応じて、オプションの設定を選択します。
- 4 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、オーディオファイルをディスクに追加します。メディアブラウザでファイルまたはフォルダを選択し、ブラウザの下部にある「追加」ボタンをクリックします。（詳細については、13 ページの「メディアブラウザの使用」を参照してください）

AIFF、MP3、WAV、AAC など 保護されていない QuickTime 対応のオーディオファイル、または Dolby Digital AC3、OGG、または FLAC など QuickTime でサポートしていないオーディオファイルを追加できます。さまざまな種類の QuickTime 対応ビデオファイルを追加できます。オーディオ CD プロジェクトにビデオファイルを追加する場合、ファイルのサウンドのみがプロジェクトに使用されます。

- 5 書き込み可能なブランク CD を挿入します。

- 6 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 7 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

オーディオ CD の作成

このディスクは、ほとんどのホームステレオやカーステレオの CD プレーヤ、セットトップ DVD プレーヤ、コンピュータで再生できます。これは、音楽ショップで購入する市販の標準 CD に似ています。CD プレーヤで再生する場合は、このディスクが最適です。

オーディオ CD を作成するには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「オーディオ」をクリックします。
- 2 アシスタントで「オーディオ CD」をダブルクリックします。メインの Toast ウィンドウのフォーマット選択メニューからオーディオ CD を選択します。
- 3 必要であれば「オプション」ボタンをクリックし、オプションのディスク設定を表示します。
 - **CD-TEXT を追加する**：オーディオ CD に CD-TEXT 情報を書き込む場合は、このオプションを選択します。お使いのレコーダで CD-TEXT を書き込むことができ、CD プレーヤが CD-TEXT を表示できる場合は、再生中にこの情報を見ることが出来ます。
- 4 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、オーディオファイルをディスクに追加します。

クロスフェードの追加、トラックのトリミング、レベルの調整、内容領域にあるトラック間のポーズの調整、トラックのプレビュー、並べ替え、名前の変更や削除などを行うことができます。95 ページの「クロスフェードの処理」および 93 ページの「トラックの処理」を参照してください。

5 書き込み可能なブランク CD を挿入します。

注記：ほとんどのホームステレオやカーステレオの CD プレーヤーは、CD-RW(書き換え可能)メディアではなく CD-R メディアとの方が互換性が高くなっています。

6 オプション：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。

7 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

トラックの処理

複数のディスク間でトラックを移動したり、トラック間のポーズ時間を調整したり、内容領域でトラックのプレビュー表示、並べ替え、削除、および名前変更を実行することができます。

オーディオ CD プロジェクトを複数の CD にスパンするには：

オーディオ CD には、最大 99 トラックが入ります。最大 80 分のオーディオを 700 MB の標準 CD-R に書き込むことができます。書き込めるオーディオの量は制限されていますが、複数の CD に書き込めるようにトラックを並べ替えることはできます。

- 1 ディスク制限である 80 分になるまで、内容領域にオーディオファイルを追加します。
- 2 Toast が自動的にオーディオトラックを 2 枚のディスクに分割するセパレータを追加します。2 枚目のディスクのセパレータはディスク 2 にラベルされます。

- 3 プロジェクトにオーディオトラックをすべて追加したら、1枚のディスク内だけでなく、ディスク間でファイルを上下にドラッグできます。
オーディオトラックをドラッグすることにより、ディスクが80分の制限を超えた場合、制限を超えるトラックは次のディスクに移動されます。
- 4 オーディオトラックを選択し、「情報」ボタンの隣にあるウィンドウの下部で「ディスクを追加」ボタンをクリックすれば、トラックセパレータを手動で追加できます。新しいトラックセパレータは、内容領域の選択されたトラックの下に表示されます。
- 5 ディスクセパレータを削除するには、右側のXマークをクリックします。各ディスクのオーディオ時間が80分の制限を超えるディスクセパレータは、削除できません。この場合、セパレータを削除するには、まずプロジェクトからオーディオファイルを削除してください。

トラック間のポーズを調整するには：

- 1 ポーズの時間を変更するトラックを選択します。
- 2 「ポーズ」カラムをクリックします。
ドロップダウンメニューから希望のポーズ時間を選択します。ポーズ時間は、個別に0～8秒で設定できますが、最初のトラックの前のポーズは2秒でなければなりません。

トラックをプレビューするには：

- トラックを選択してハイライト表示し、Toast ウィンドウの下部にある再生コントロールで「再生」ボタンをクリックします。

トラックを並べ替えるには：

- 1 並べ替えるトラックを選択します。
- 2 そのトラックを、トラックリスト内の新しい位置にドラッグします。
トラック間の黒いバーは、トラックが配置される場所を示しています。

トラックを削除するには：

- 1 削除するトラックを選択します。
- 2 選択したトラックを、以下のいずれかの方法で削除します。
 - 「ファイルを削除」ボタンをクリックします。
 - 「Delete」キーを押します。
 - 「編集」>「消去」を選択します。

選択したトラックは内容領域から削除されますが、ハードディスクや iTunes ライブラリにあるオリジナルは削除されません。

トラック情報を表示または編集するには：

- 1 トラックをダブルクリックするか、トラックを選択した後、内容領域のすぐ下にある「項目情報を見る」ボタンをクリックします。
- 2 **オプション：**オプションで、「ディスク」タブからディスクに関する情報を編集したり、「トラック」タブからトラックごとの情報を編集できます。この情報は、CD-TEXT を書き込むように選択すると、完成したディスクで表示されます。
- 3 「OK」をクリックします。

クロスフェードの処理

クロスフェードはあるトラックから次のトラックへ移り変わるトランジションのことです。クロスフェードをかけると、あるトラックの終わりとの次のトラックがオーバーラップします。つまり、最初のトラックがフェードアウトしている間に 2 曲目がフェードインするように設定されます。

トラックリストで使用可能なコントロールを使って、フェードとクロスフェードを定義します。Toast の編集機能と同じように、クロスフェードは非破壊的です。

クロスフェードを作成するには：

- 1 オーディオ CD プロジェクトを作成し、オーディオトラックを内容領域に追加します。92 ページの「オーディオ CD の作成」を参照してください。

- 2 トラックリストでフェードの列を探します。
 - 3 リストの最初のトラックには、「フェードインを設定」および「クロスフェードを設定」ボタンがあります。中間のトラックには「クロスフェードを設定」ボタンがあります。最初のトラックには「フェードアウトを設定」ボタンがあります。

各ボタンをクリックし、ドロップダウンリストで項目を選択します。ドロップダウンリストから「カスタム」を選択し、追加オプションを表示します。
 - 4 好きなフェードとクロスフェードを設定したら、通常通り、オーディオ CD の作成を続けます。
-

注記：「ディスク」>「クロスフェードを消去」を選択して、すべてのクロスフェードを削除します。

ミュージック DVD の作成

この DVD は、セットトップ DVD プレーヤ、または DVD プレーヤ付きの Macintosh や Windows コンピュータで再生できます。ミュージック DVD を DVD オーディオディスクと混同しないようにしてください。DVD オーディオディスクを再生するには、特別な DVD プレーヤが必要となります。ミュージック DVD は、音楽の入った標準 DVD で (写真スライドショーやビデオも入ります)、曲選択用のフル機能のナビゲーションメニューがあり、あらゆるセットトップ DVD プレーヤで再生することが可能です。

標準のミュージック DVD には、50 時間分以上の音楽を Dolby Digital サウンドで記録できます。お使いのレコーダが書き込み可能なデュアルレイヤー DVD に対応している場合は、100 時間分以上の音楽の入ったミュージック DVD を作成することもできます。

ミュージック DVD を作成するには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「オーディオ」をクリックします。

- 2 アシスタントから「音楽 DVD」をダブルクリックします。メインの Toast ウィンドウのフォーマット選択メニューから「音楽 DVD」を選択します。
- 3 必要であれば「オプション」ボタンをクリックし、オプションのディスク設定を表示します。
 - **メニュースタイル**：メニューの背景イメージ、テキスト、ボタンのスタイルを選択します。
 - **ディスク挿入時、ディスクを自動再生する**：このオプションを選択すると、ディスクを DVD プレーヤに挿入したとき、最初のプレイリストが自動的に再生されます。DVD のメインメニューは表示されませんが、DVD プレーヤのリモコンにある「メニュー」ボタンを選択すれば、その画面になります。一部のプレーヤでは、自動再生をサポートしません。
 - **全ての項目を連続して再生する**：このオプションを選択すると、始めに DVD のメインメニューに戻らず、DVD に入った各プレイリストを自動的に再生します。
 - **引用元の写真を追加**：このオプションを選択すると、ディスクの別のフォルダにあるスライドショーから引用元である元の写真を最高品質でコピーします。このフォルダは、DVD を Macintosh または Windows コンピュータで使用する際にアクセスできます。
 - **DVD-ROM のコンテンツを含む**：このオプションを選択すると、ディスクの ROM 部分に追加データが含まれます。このデータは、ディスクを Macintosh または Windows で使用する場合にアクセスできます。詳細については、41 ページの「DVD-Video ディスクに ROM データを追加」を参照してください。

さらに細かいメニュー設定については、[カスタマイズ]をクリックします。39 ページの「ビデオディスク設定」を参照してください。

- 4 オーディオエンコードのフォーマットを選択します。デフォルトでは、Toast はミュージック DVD を Dolby Digital 192 kbps 音声でエンコード化します。これにより、音声を圧縮して、50 時間分以上の音楽に収まるようディスク容量を最大限に利用できるようになります。完全なハリウッドスタイルの忠実度を維持できます。

オーディオフォーマットを Dolby Digital から非圧縮 PCM 音声に変更するには、「詳細」をクリックして、「エンコード」タブから「カスタム」オプションを選択します。オーディオフォーマットに「PCM」を選択します。

Toast は、PCM を 48kHz/16 ビット、または 48kHz/24 ビットレベルでエンコード化します。これは、標準的な CD に比べ高音質で、iTunes ライブラリに入っているほとんどの曲のレベルを上回ります。96 kHz/24 ビットで録音されたオーディオは、96 kHz/24 ビットオプションを選択しない限り、自動的にダウンサンプルされます。これにより、高い音質を実現しながら、必要なディスク領域を大幅に減らすことができます。

また、オプションで、写真やビデオコンテンツに適用されるエンコードを設定することもできます。42 ページの「ディスクエンコード設定」を参照してください。

- 5 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、オーディオファイルをディスクに追加します。

内容領域に追加したファイルの各グループは、プレイリストとして表示されます。各プレイリストには、DVD メニューにボタンがあり、再生する音楽を選択できます。プレイリストは、複製、並べ替え、削除、編集が可能です。99 ページの「プレイリストの処理」を参照してください。

また、オプションで、写真やビデオを内容領域に追加することもできます。

- 6 書き込み可能なブランク DVD を挿入します。
- 7 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。

- 8 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

プレイリストの処理

内容領域に追加したオーディオファイルの各グループは、プレイリストとして表示されます。各プレイリストには、DVD メニューにボタンがあり、再生する音楽を選択できます。プレイリストには、最大 99 トラックまで保存することができます。さらに、プレイリストは、並べ替え、複製、削除、編集が可能です。

プレイリストを並べ替えるには：

- 1 並べ替えるプレイリストを選択します。
- 2 そのプレイリストを、内容領域の新しい位置にドラッグします。

プレイリスト間の黒いバーは、プレイリストが配置される場所を示しています。

プレイリストを複製するには：

- プレイリストを選択して、「編集」>「複製」を選択します。

プレイリストを削除するには：

- 1 削除するプレイリストを選択します。
- 2 選択したプレイリストを、以下のいずれかの方法で削除します。
 - 「ファイルを削除」ボタンをクリックします。
 - 「Delete」キーを押します。
 - 「編集」>「消去」を選択します。

プレイリストの中のプレイリストやトラックは内容領域から削除されますが、ハードディスクや iTunes ライブラリにあるオリジナルは削除されません。

DVD のメッセージボタンのテキストやプレイリストのグラフィックを編集するには：

- 1 プレイリストを選択して「編集」をクリックするか、または、いずれかのプレイリストをダブルクリックします。
- 2 「テキスト」タブをクリックして、テキストを編集します。
- 3 「プレイリスト」タブをクリックして、ボタンのグラフィックを編集します。
- 4 ハードディスク、あるいは Web ページから、「アルバムのアートワークをここにドラッグする」と書かれたプレイリストの任意のトラック領域ヘイメージファイルをドラッグアンドドロップします。

ヒント： Toast のメディアブラウザからイメージファイルをドラッグすることができますが、ブラウザのドックを解除してください。ブラウザのドックを解除するには、Toast のメインウィンドウの右上にある小さなボタンをクリックします。

- 5 プレイリスト（アルバムのアートワークではない）を選択し、「ボタンピクチャ設定」をクリックします。

トラックにアルバムのアートワークがない場合は、プレイリストのトラックの再生中、選択したグラフィックが TV 画面に表示されます。ボタンにグラフィックが選択されていない場合は、Toast のデフォルトのボタングラフィックが表示されます。

- 6 「完了」をクリックします。

トラックをプレイリストに追加するには：

- メディアブラウザまたはハードディスクから、トラックをプレイリストにドラッグします。

プレイリストの周りの黒い四角は、トラックが追加されることを示しています。

プレイリストのアルバムアートの削除、並べ替え、名前の変更、またはトラックへの追加を行うには：

- 1 プレイリストを選択して「編集」をクリックするか、または、いずれかのプレイリストをダブルクリックします。
- 2 「プレイリスト」タブをクリックして、以下のいずれかを実行します。

- トラックを削除するには、トラックを選択して「削除」をクリックします。このトラックはプレイリストから削除されますが、ハードディスクや iTunes ライブラリにあるオリジナルは削除されません。
- トラックを再配置するには、そのトラックをトラックリスト内の新しい位置にドラッグします。トラック間の黒いバーは、トラックが配置される場所を示しています。トラックリストの一番上にあるボタンは、操作しやすいようにトラックの列の長短を切り替えるボタンです。
- トラックの名前を変更するには、変更するトラックの情報をクリックします。すぐに名前がハイライトされ、編集できるようになります。新しい名前を入力し、次のトラックをクリックして変更を許可します。この情報は、トラックの再生中に TV 画面に表示されます。
- アルバムのアートワークを追加するには、ハードディスク、あるいは Web ページから、「アルバムのアートワークをここにドラッグする」と書かれた領域へイメージファイルをドラッグアンドドロップします。このアートワークは、トラックの再生中に TV 画面に表示されます。

そのトラックがすでに iTunes にアルバムのアートワークを持っている場合は、それがここに表示されます。iTunes ライブラリのトラックに、アルバムのアートワークを自動的に追加できるユーティリティがいくつかあります。
download.cnet.com で「iTunes アート」を検索することもできます。

各トラックにアルバムのアートワークを追加する必要はありません。トラックにアルバムのアートワークがない場合は、トラックの再生中、DVD メニューのボタングラフィックが代わりに表示されます。

- 3 「完了」をクリックします。

MP3 ディスクの作成

このディスクは、ホームステレオやカーステレオ、MP3 ディスクプレーヤ、互換性のあるセットトップディスクプレーヤ、ほとんどの Macintosh や Windows コンピュータで再生できます。

標準的なオーディオ CD には 70 分以上の音楽が入りますが、MP3 CD は 10 時間以上、MP3 DVD は 50 時間以上の内容を書き込むことができます。MP3 BD は数百時間単位の音楽を収めることができます。ただし、MP3 ディスクのナビゲーション用メニュー機能には制約があるため、特定の曲を検索することが難しい上、MP3 ディスクの再生に対応したデバイスでしか再生できません。

ミュージック DVD は、大容量、フル機能のメニューナビゲーション、汎用機器での再生が可能のため、最適です。96 ページの「ミュージック DVD の作成」を参照してください。

MP3 ディスクを作成するには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「オーディオ」をクリックします。
- 2 アシスタントで「MP3 ディスク」をダブルクリックします。Toast のメインウィンドウのフォーマット選択メニューから「MP3 Disc」を選択します。
- 3 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、MP3 ファイルをディスクに追加します。

既存の MP3 ファイルはどれでも追加できます。Toast では、MP3 オーディオファイルを作成することはできません。MP3 ファイルを作成する場合は、iTunes を使用します。プレーヤが対応していれば、WMA や OGG など既存の MP3 以外のファイルもディスクに追加できます。

また、項目の並べ替えや名前の変更、内容領域からの削除を行うことも可能です。ファイルをサブフォルダに並べ替えると、MP3 プレーヤによっては再生ナビゲーションが改善されます。これにより、お使いのハードディスクや iTunes ライブラリのオリジナルファイルに影響することはありません。73 ページの「データコンテンツの使用」を参照してください。

- 4 書き込み可能なブランクの CD、DVD、または Blu-ray ディスクを挿入します。
- 5 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 6 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

エンハンスト CD の作成

エンハンスト CD には、オーディオトラックや、写真、ビデオなどのエンハンストデータコンテンツが入っています。ディスクのオーディオ部分は、ホームステレオやカーステレオの CD プレーヤで再生可能ですが、エンハンストコンテンツは Macintosh または Windows コンピュータから利用可能となります。

旧型の CD-ROM ドライブの一部では、これらのディスクを認識できない場合があります。このような場合は、1 つのセッションしか持たない点以外はエンハンスト CD に似たミックスモード CD を作成できます。105 ページの「ミックスモード CD の作成」を参照してください。

エンハンスト オーディオ CD を作成するには：

- 1 Toast のメインウィンドウで「データ」をクリックします。
- 2 フォーマット選択メニューで「Mac 専用」または「Mac & PC」のいずれかを選択します。

- 3 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、データファイルとフォルダをディスクに追加します。
- 4 「オーディオ」をクリックします。
- 5 フォーマット選択メニューから「エンハンストオーディオ CD」を選択します。
- 6 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にオーディオファイルとフォルダをドラッグアンドドロップして、ディスクに追加します。

クロスフェードの追加、トラックのトリミング、レベルの調整、内容領域にあるトラック間のポーズの調整、トラックのレビュー、並べ替え、名前の変更や削除などを行うことができます。95 ページの「クロスフェードの処理」および 93 ページの「トラックの処理」を参照してください。
- 7 書き込み可能なブランク CD を挿入します。

注記：ほとんどのホームステレオやカーステレオの CD プレーヤは、CD-RW(書き換え可能)メディアではなく CD-R メディアとの方が互換性が高くなっています。

- 8 **オプション：**画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 9 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

ミックスモード CD の作成

ミックスモード CD には、1つのデータトラック、1つ以上のオーディオトラックが含まれ、1つのセッションに書き込まれます。オーディオを再生し、またはデータをコンピュータ上で参照することができます。ミックスモード CD は、ホームステレオやカーステレオの CD プレーヤーでは再生できず、場合によってはスピーカが破損する恐れがあります。

ミックスモード CD を作成するには：

- 1 Toast のメインウィンドウで「オーディオ」をクリックします。
- 2 フォーマット選択メニューから「ミックスモード CD」を選択します。
- 3 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、オーディオファイルをディスクに追加します。
内容領域にあるトラックのプレビュー、並べ替え、名前の変更や削除の他、トラック間のポーズの調整を行うことができます。93 ページの「トラックの処理」を参照してください。
- 4 Toast のメインウィンドウで「データ」をクリックします。
- 5 フォーマット選択メニューで「Mac & PC」を選択します。
- 6 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、データファイルをディスクに追加します。
- 7 Toast のメインウィンドウで「オーディオ」をクリックして、ミックスモードウィンドウに戻ります。
- 8 書き込み可能なブランク CD を挿入します。
- 9 **オプション**：画面の下部で書き込むレコーダと部数を変更します。
- 10 Toast ウィンドウの右下にある赤の「書き込み」ボタンをクリックします。

Toast では、ディスクに書き込む間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

ディスクのコピー

章内セクション

コピーの種類	108
コピー作成の概要	108
ディスクのコピー	109
ディスクイメージファイルのコピー	111
ディスクイメージのマージ	112

コピーの種類

Toast では、他の Mac 用ライティングソフトウェアに比べ、豊富な種類のディスクやイメージファイルをコピーできます。

- **ディスクのコピー**：保護されていない CD、DVD、または Blu-ray ディスクを別のディスクにコピーします。ほとんどの場合、このオプションを選択します。109 ページの「ディスクのコピー」を参照してください。
- **イメージファイル**：ディスクイメージファイルを CD、DVD、または Blu-ray ディスクにコピーします。111 ページの「ディスクイメージファイルのコピー」を参照してください。
- **ディスクイメージマージ**：Mac のディスクイメージと PC のディスクイメージをハイブリッドなディスク コピーにマージします。112 ページの「ディスクイメージのマージ」を参照してください。

コピー作成の概要

このセクションでは、Toast でコピーを作成するための基本的なプロセスについて説明します。

ヒント：ディスクは一回の操作で複数のレコーダに書き込むことができます。詳細については、66 ページの「*複数のレコーダにプロジェクトを書き込む*」を参照してください。

ディスクまたはイメージファイルをコピーするには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「コピー」をクリックします。
- 2 ディスクフォーマットを選択します。たとえば、「ディスクのコピー」を選択します。
- 3 必要に応じて、オプションの設定を選択します。
- 4 オリジナルの CD、DVD または Blu-ray ディスクをレコーダに挿入するか、またはイメージファイルを内容領域にドラッグアンドドロップします。

- 5 赤の「コピー」ボタンをクリックして、リストからレコーダ、および「コピー枚数」などの書き込み設定オプションを選択します。「書き込み」をクリックして、作業を続けます。
- 6 ダイアログが表示されたら、ソースディスクと同じ種類の書き込み可能なブランクディスクを挿入します。

Toast では、ディスクをコピーする間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

ディスクのコピー

保護されていないデータ、オーディオ、ビデオの CD、DVD、または Blu-ray ディスクをコピーできます。

注記：ディスクコピーは、Mac OS X 10.9 以降で使用できます。

CD、DVD、または Blu-ray ディスクをコピーするには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「コピー」をクリックします。
- 2 アシスタントで「ディスクのコピー」をダブルクリックします。メインの Toast ウィンドウのフォーマット選択メニューから「ディスクのコピー」を選択します。
- 3 必要であれば「オプション」ボタンをクリックし、オプションのディスク設定を表示します。
 - **CD-TEXT を追加する：**オリジナルがオーディオ CD の場合、アルバム情報は自動的に抽出され、コピー先に CD-TEXT が追加されます。この情報を表示するには、CD-TEXT 対応のオーディオ CD プレーヤが必要です。

- **Fit-to-DVD ビデオ圧縮を使用する：**オリジナルが、標準 4.7GB の書き込み可能な DVD に収まりきらないほど大容量の DVD ビデオの場合、このオプションを選択すると、コピー先に収まるよう圧縮されます。48 ページの「コピーオプションの変更」を参照してください。
- **ディスクリカバリーを使用する：**これをオンにしておくと、傷などのダメージが原因で読み込めないディスクのコピーを可能にします。これらのダメージのあるディスクのファイルはコピー中に復旧させることができます。コピーが完了すると、復旧情報が表示されます。



注記：すべてのディスクが復旧できるわけではありません。ダメージがひどいディスクの場合は、このオプションを有効にしても、Toast で読み込めない場合があります。

- 4 元のディスクをレコーダに挿入します。
- 5 コンピュータに光学ドライブが複数ある場合は、片方のドライブから別のドライブへコピーできます。ドロップダウンメニューをクリックして、コピー元のドライブを選択肢、そのドライブにオリジナルディスクを挿入します。
- 6 赤の「コピー」ボタンをクリックして、リストからレコーダ、および「コピー枚数」などの書き込み設定オプションを選択します。
- 7 「書き込み」をクリックして、作業を続けます。
- 8 ダイアログが表示されたら、ソースディスクと同じ種類の書き込み可能なブランクディスクを挿入します。

Toast では、ディスクをコピーする間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

コンピュータにドライブが 1 つしかない場合、Toast はオリジナルのすべての内容をハードディスク上のテンポラリファイルにコピーしてから、ブランクディスクに書き込みます。コピーが完了すると、テンポラリファイルは自動的に削除されます。コピーするディスク

タイプによっては、ハードディスクに大量の一時空き容量が必要になります。

注記： マルチセッションのデータ CD をコピーする場合、
Toast は最初のセッションだけをコピーします。

ディスクイメージファイルのコピー

ディスクイメージファイルを CD、DVD、または Blu-ray ディスクにコピーできます。Toast では、以下のような人気の高いディスクイメージファイルフォーマットをサポートします：.toast、dmg、img、iso、bin/.cue、cdr、sd2、その他サードパーティのフォーマット。

ディスクイメージファイルを CD、DVD、または Blu-ray ディスクにコピーするには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「コピー」をクリックします。
- 2 アシスタントで「イメージファイル」をダブルクリックします。メインの Toast ウィンドウのフォーマット選択メニューから「イメージファイル」を選択します。
- 3 必要であれば「オプション」ボタンをクリックし、オプションのディスク設定を表示します。
 - **Fit-to-DVD ビデオ圧縮を使用する：**オリジナルが、標準 4.7GB の書き込み可能な DVD に収まりきらないほど大容量の DVD ビデオの場合、このオプションを選択すると、コピー先に収まるよう圧縮されます。48 ページの「コピーオプションの変更」を参照してください。
- 4 ハードディスクから内容領域にドラッグするか、「選択」をクリックして、ディスクイメージファイルを追加します。
- 5 書き込み可能なブランクディスクを挿入します。

- 6 赤の「コピー」ボタンをクリックして、リストからレコーダ、および「コピー枚数」などの書き込み設定オプションを選択します。
- 7 「書き込み」をクリックして、作業を続けます。

Toast では、ディスクをコピーする間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

ディスクイメージのマージ

ディスクイメージマージは、Mac と PC いずれにも独自のコンテンツを入れたクロスプラットフォームディスクを作成する必要がある、あるいは各プラットフォームで独自のイメージを作成する必要のあるソフトウェアデベロッパにとって、便利なツールです。Mac のディスクイメージは Toast で作成し、PC のディスクイメージは Roxio Creator[®] 2011 など、一般的な PC ソフトウェアで作成することができます。

ディスクイメージをマージするには：

- 1 Toast のメインウィンドウで「コピー」をクリックします。
- 2 フォーマット選択メニューから「ディスクイメージのマージ」を選択します。
- 3 新しいディスクにマージする Mac と PC のディスクイメージを選択します：
 - PC のディスクイメージを選択するには、「ISO イメージを選択」ボタンをクリックします。
 - Mac のディスクイメージを選択するには、「Mac イメージを選択」ボタンをクリックします。
- 4 赤の「コピー」ボタンをクリックして、リストからレコーダ、および「コピー枚数」などの書き込み設定オプションを選択します。
- 5 「書き込み」をクリックして、作業を続けます。

メディアの変換

章内セクション

オーディオとビデオを変換する理由？	114
DVD-Video コンテンツを変換	115
変換オプションの変更	116
ビデオファイルの変換	117
カスタムプロファイルを作成	120
VideoBoost	121
オーディオファイルの変換	123
オーディオブックの変換	124

オーディオとビデオを変換する理由？

オーディオやビデオのファイルは、多種多様なフォーマットで回っています。コンピュータはこれらのフォーマットの多くをサポートすることができますが、その他の装置、ポータブルビデオプレーヤー、ファイル共有ウェブサイトは、そのうちの一部のみをサポートすることができます。Toast は、オーディオやビデオを変換し、iPad や iPhone などのポータブルデバイス、または YouTube、Vimeo、Facebook などの Web サイトでの再生を最適化します。

Toast では、様々な変換を行います：

- **DVD ディスク：**このプロジェクトでは、保護されていない DVD-Video ディスクを別のフォーマットに変換し、ポータブルデバイスや Web サイトで使用できるようにします。ムービーと付属メニューだけでなく、音声の言語を選択することができます。
- **イメージファイル：**このプロジェクトでは、DVD-Video イメージファイルを変換します。ムービーと付属メニューだけでなく、音声の言語を選択することができます。
- **VIDEO_TS フォルダ：**このプロジェクトは複数の VIDEO_TS フォルダを変換することができます。ムービーと付属メニューだけでなく、音声の言語を選択することができます。
- **ビデオファイル：**このプロジェクトでは、内容領域にサポートされているビデオファイルを追加し、デバイスで再生できるように変換したり、ビデオ共有サイトに直接公開することができます。
- **オーディオファイル：**CD Spin Doctor でキャプチャされたオーディオなど、サポートされているオーディオファイルを追加し、選択したデバイスで再生可能なフォーマットに変換します。
- **オーディオブック：**CD に保存されたオーディオブックを iTunes や iPod、その他のポータブルデバイスで再生可能なデジタルファイルに変換します。

注記：変換プロジェクトにより、新しく変換されたファイルが作成されます。オリジナルのオーディオとビデオファイルは変更されません。

DVD-Video コンテンツを変換

このセクションでは、Toast で DVD-Video ディスクを別のビデオフォーマットに変換する場合の基本的なプロセスについて説明します。変換済みファイルはコンピュータ上に保存され、iTunes に直接転送したり、人気アップロードサイトにアップロードすることができます。

DVD-Video ディスクを変換するには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「変換」をクリックします。
- 2 アシスタントで「DVD ディスク」をダブルクリックします。Toast のメインウィンドウのフォーマット選択メニューから「VDVD Disc」を選択します。
- 3 プルダウンメニューからソースディスクを選択します。コピーする情報の要約が内容領域に表示されます。
- 4 「オプション」をクリックして、変換するムービー、付属メニュー、音声の言語を選択します。詳細については、116 ページの「*変換オプションの変更*」を参照してください。
- 5 赤の「変換」ボタンをクリックします。
- 6 出力フォーマットを選択するか、ビデオを最適化する対象のデバイス、または Web サイトを選択します。
- 7 ビデオの品質レベルを選択します。
- 8 ビデオの変換作業はコンピュータのリソースを大量に消費します。変換作業を後で行う場合は、「スケジュール」をクリックします。

- 9 ハードディスク上のフォルダなど場所を選択するか、ビデオを直接 iTunes に送信します。
- 10 「変換」をクリックして、作業を続けます。

変換オプションの変更

変換オプションでは、ビデオの内容を変換する際に含めるムービーと付属メニュー、言語を選択できます。ビデオを変換する際、作成されるビデオファイルに入る音声言語は一つだけです。デフォルトでは、DVD-Video ソースを再生する時と同じ言語に設定されています。

変換オプションを変更するには：

- 1 「オプション」ボタンをクリックします。
- 2 「ビデオ」プルダウンメニューを選択し、コピーしたいビデオを選択します。
 - **すべて**：すべてのムービーと付属メニュー
 - **メイン**：再生時間が最も長いタイトル1本のみ
 - **カスタム**：含めるビデオを選択します。

注記：ポータブルデバイス、または Web サイト用にビデオを変換する場合、DVD メニューは保存されません。

- 3 「オーディオ」プルダウンメニューを選択し、コピーしたいオーディオを選択します。
 - **メイン**：デフォルトのオーディオトラックまたは言語を選択します。
 - その他、使用可能な言語とオーディオトラックも選択可能な状態になっています。

注記：ビデオのオプションを「カスタム」に設定した場合、オーディオドロップダウンメニューは表示されません。その代わりに、各ビデオのオーディオと言語オプションを選択できます。

ビデオファイルの変換

Toast は、ビデオファイルを各種フォーマットに変換したり、ハードディスクに保存したり、直接 iTunes に追加したり、直接ビデオ共有サイトに公開することができます。

ビデオファイルを変換するとは：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「変換」をクリックします。
- 2 アシスタントから「ビデオファイル」をダブルクリックします。メインの Toast ウィンドウのフォーマット選択メニューから「ビデオファイル」を選択します。
- 3 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、ビデオファイルをプロジェクトに追加します。

注記：メディアブラウザで「ビデオ」をクリックし「AVCHD」を選択すると、高解像度 (AVCHD) ビデオカメラから内容を追加することができます。

- 4 **オプション：**プロジェクトが完了する前にビデオを編集するには、「編集」ボタンをクリックします。オーディオユニットプラグインを使用して、オーディオエフェクトを適用するには、「AU フィルタ」をクリックします。編集の詳細については、53 ページの「ビデオを編集」を参照してください。
- 5 赤の「変換」ボタンをクリックします。

- 6 デバイスドロップダウンメニューから再生デバイス、変換フォーマット、またはビデオ共有サイトを選択します。選択項目は以下のカテゴリに分類されます：
- **Apple ハードウェア**：iPad や iPhone、AppleTV など好きなデバイス用に最適化されたプロファイルから選択します。
 - **ビデオゲームシステム**：各種ビデオゲーム機器での再生用に最適化されたプロファイルから選択します。
 - **モバイルデバイス**：さまざまなモバイルデバイスから選択できます。
 - **ファイルフォーマット**：DV、H.264、MPEG-4、QuickTime ムービー、DivX Plus HD、および MKV などのファイルフォーマットを選択します。これらのフォーマットを使用する際、目的に合わせてデフォルトのオーディオやビデオ設定をカスタマイズしたいという場合があります。
 - **インターネットフォーマット**：ビデオを変換して自動的にビデオ共有サイトに公開したり、FLV または F4V ビデオを Adobe Flash 用に変換します。YouTube、Vimeo、Facebook など、公開の最後のステップでは、タイトル、説明、プライバシーオプション（オンラインサービスによって異なります）などの詳細情報を入力するダイアログが表示される場合があります。
 - **Flash ビデオ**：ビデオを FLV、または F4V ビデオに変換するオプションです。Web ブラウザ上で Adobe Flash Player を使用して視聴できます。FLV または F4V に出力オプションを切り替えるには、Toast 環境設定で「ビデオ」タブを開き、FLV または F4V を選択します。
 - **Player 付き Flash ビデオ**：ビデオを FLV、または F4V ビデオに変換するオプションです。Web ブラウザ上で Adobe Flash Player を使用して視聴できます。FLV または F4V に出力オプションを切り替えるには、Toast 環境設定で「ビデオ」タブを開き、FLV または F4V を選択します。

Player 付き Flash ビデオを使用する場合、保存先フォルダにビデオと3つの追加ファイルが作成されます。この3つのファイルと作成したビデオを組み合わせることにより、再生コントロールやWebサイトにビデオを埋め込むサンプルHTMLコードビデオなどを含むWebページに投稿する際に必要な機能のすべてが手に入ります。

- **カスタムプロファイル**：この領域での選択項目は、以前作成したカスタムプロファイルで構成されます。カスタムプロファイルに関する詳細は、120ページの「**カスタムプロファイルを作成**」を参照してください。品質設定を選択し、ハードディスク上のフォルダや iTunes などの場所書き出しを行います。

注記：変換を開始する前に「プレビュー」ボタンをクリックすると、選択した画質レベルで再生した場合を確認することができます。この操作によって、変換を完了する前に品質レベルの調整が必要かどうか確認できるため、無駄な時間を省きます。

- 7 ビデオの変換作業はコンピュータのリソースを大量に消費します。変換作業の日時を設定するには、「スケジュール」をクリックします。
- 8 「変換」をクリックします。
- 9 保存先に Web サイトを選択した場合、アカウント情報の他、ビデオのオプションタイトルと説明を入力するダイアログが表示されます。
プライバシードロップダウンメニューで、ファイルにアクセス可能なユーザーを設定できます。ビデオの投稿を Twitter のフォロワーに知らせるツイートアラートを送信するオプションもあります。

カスタムプロフィールを作成

付属のプリセットをカスタマイズし、再利用できるようにカスタム設定を保存するビデオ変換用カスタムプロフィールを作成することができます。

カスタム変換プロフィールを作成するには：

- 1 赤の「変換」ボタンをクリックした後、デバイスプルダウンメニューから「新規カスタムプロフィール」を選択します。
- 2 「カスタムビデオ書き出しプロフィール」ウインドウが表示され、新規プロフィールは自動的に追加され、名前を入力するダイアログが表示されます。今後、プロフィール名がデバイスプルダウンメニューに表示されるようになります。覚えやすい名前を選択してください。
- 3 フォーマットプルダウンで、カスタム設定のベースになるフォーマットを選択します。使用したい設定に最も近いフォーマットを選択してください。たとえば、iPad 用にビデオを変換するためのカスタムビデオプロフィールを作成する場合、iPad フォーマットを選択してください。
- 4 サイズ、縦横比、オーバースキャンなどのオプションを変更し、選択したフォーマットをカスタマイズします。「高度な設定」タブをクリックして、オーディオとビデオの詳細設定にアクセスすることもできます。選択した設定が再生用のデバイスと互換性があることを確認してください。フォーマットプルダウンメニューで選択したオリジナルのデバイス、またはフォーマットと互換性のない設定を選択することも可能です。
- 5 変更が完了したら、「OK」をクリックしてプロジェクトを終了します。デバイスプルダウンメニューに新しいカスタムプロフィールが追加されます。

注記：「カスタムビデオ書き出しプロフィール」画面の下部にあるプラス (+) およびマイナス (-) ボタンを使って、カスタムプロフィールを追加、および削除することができます。

VideoBoost

VideoBoost は最新のグラフィックスカードで使われていない処理能力を生かし、H.264 ビデオ変換をスピードアップします。iPad、iPhone、AppleTV など H.264 再生を使用するデバイス向けのビデオを作成する場合に最適です。

VideoBoost のメリットを生かすには、コンピュータが NVIDIA グラフィックスカードをサポートする必要があります。最適なパフォーマンスを実現するには、RAM は 4 GB を推奨します。

NVIDIA グラフィックスカードを搭載したノートブックコンピュータの場合、システム環境設定の省エネオプションで高パフォーマンスを選択してください。省エネオプションが使用可能であっても、高パフォーマンスを選択しない場合、VideoBoost のパフォーマンスが著しく低下します。省エネ機能にこのオプションがない場合、これ以上操作は必要ありません。この設定を変更した後、コンピュータを再起動する必要があります。

ビデオの変換には VideoBoost を使用するには：

- 1 お使いの Apple コンピュータに互換性のある NVIDIA グラフィックスカードが搭載されていることを確認してください。画面左上にある Apple をクリックして「この Mac について」次に「詳細」を選択すると、グラフィックスカードの種類を確認できます。この操作により System Profiler アプリケーションが起動します。左側のハードウェアの下にある「グラフィック / ディスプレイ」をクリックすると、使用可能なグラフィックスカードが System Profiler ウィンドウに表示されます。

互換性のあるカードの一覧は、www.roxio.com/toast をご覧ください。

- 2 NVIDIA から直接、Mac 用 NVIDIA CUDA ドライバーの最新版をダウンロードして、インストールしてください。ドライバーを検索するには、www.nvidia.com にアクセスし、「ドライバーのダウンロード」セクションまでナビゲートしてください。

3 コンピュータを再起動します。

ヒント: ビデオを公開する場合、直接 www.nvidia.com/object/mac-driver-archive.html にアクセスして、画面のトップにある最新ドライバーをダウンロードすることもできます。

- 4 Toast を起動し、「変換」>「ビデオファイルプロジェクト」をクリックします。ビデオの変換を開始する準備ができれば、赤の「変換」ボタンをクリックします。
- 5 NVIDIA グラフィックスカードをサポートしている場合、このウィンドウに新しいオプションが表示されます。チェックボックスが選択されていない場合は、チェックを入れ、新しい「VideoBoost を使用」オプションが有効であることを確認します。
- 6 さらに詳細な設定を選択し、ビデオを変換します。

進捗バーとステータス情報が表示され、VideoBoost の使用中は進捗ウィンドウに VideoBoost が表示されます。

ビデオ変換の一時停止 / 再開

ビデオの変換は、ビデオのフォーマットや長さ、コンピュータの処理速度などによって異なりますが、非常に時間のかかるプロセスです。マシンによっては、ビデオを変換するのに CPU をフル活用するため、動作が遅くなる場合があります。エンコードは任意の時に一時停止して他のタスクのために CPU を空け、後で再開することができます。エンコード化を一時停止にすると、Toast が開いている限り、他のアプリケーションを起動したり、ユーザーアカウントを切り替えることもできます。Toast アプリケーションを閉じると、ビデオのエンコード化を一時停止しても、始めからプロセスを再実行しなければならなくなります。

また、DVD-Video や Blu-ray Disc™ の作成など、ディスクベースのプロジェクトでもビデオエンコーディングを一時停止 / 再開することができます。ビデオエンコーディングの段階が完了し、ディスクへの書き込みが開始すると、一時停止 / 再開オプションは利用不可になります。書き込みプロセスは一時停止することができません。

ビデオ変換を一時停止 / 再開するには：

- 1 ビデオ変換進捗ダイアログの「一時停止」ボタンをクリックして、エンコーディングを一時停止します。
- 2 続行できる状態になったら、「再開」ボタンをクリックします。

オーディオファイルの変換

Toast は、オーディオファイルをあらゆるタイプのフォーマットに変換し、ハードディスクまたは接続したデバイスに書き出すことができます。

オーディオをエクスポートするには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「変換」をクリックします。
- 2 アシスタントで「オーディオファイル」をダブルクリックします。メインの Toast ウィンドウのフォーマット選択メニューから「オーディオファイル」を選択します。
- 3 ハードディスク、またはメディアブラウザから内容領域にドラッグアンドドロップして、オーディオファイルをプロジェクトに追加します。
- 4 オーディオの書き出しに適用させたいオーディオエフェクトやクロスフェードなどを追加します。
- 5 赤の「変換」ボタンをクリックします。
- 6 有効な変換フォーマットを選択します。
 - **AIFF**：Mac 用の完全品質の非圧縮オーディオファイルを作成します。
 - **WAV**：PC 用の完全品質の非圧縮オーディオファイルを作成します。
 - **AAC**：iTunes 対応の高品質の圧縮オーディオファイルを作成します。
 - **Apple Lossless**：iTunes 対応の完全品質の圧縮オーディオファイルを作成します。

- **FLAC**：完全品質の圧縮オーディオファイルを作成します。お使いのプレーヤが FLAC フォーマットに対応している必要があります。iTunes は FLAC に対応していません。
- **Ogg Vorbis**：MP3 に似た高品質の圧縮オーディオファイルを作成します。お使いのプレーヤが Ogg Vorbis フォーマットに対応している必要があります。iTunes は Ogg Vorbis に対応していません。

または、ファイルに合った目的を選択することもできます。編集、Windows コンピュータでの視聴、iTunes での再生、Sony PSP を使用した再生など、目的に合った選択項目を検索します。それぞれの目的に合った設定が自動的に選択され、概要領域に表示されます。

- 7 変換済みオーディオの保存先を選択します。
- 8 「オプション」をクリックすると、オーディオ設定をさらに細かく微調整できます。
- 9 「保存」をクリックすると、オーディオが変換されます。

Toast では、オーディオを書き出す間、進捗バーとステータス情報が表示されます。

オーディオブックの変換

オーディオブックプロジェクトでは、CD に保存されたオーディオブックを iTunes や iPod、その他のポータブルデバイスで再生可能なデジタルファイルに変換します。

オーディオブックを変換するには：

- 1 アシスタントまたはメインの Toast ウィンドウで、「変換」をクリックします。
- 2 アシスタントで「オーディオブック」をダブルクリックします。メインの Toast ウィンドウのフォーマット選択メニューから「オーディオブック」を選択します。
- 3 オーディオブックの最初のディスクをコンピュータのディスクドライブに挿入します。

- 4 ディスクのコンテンツを iTunes ミュージックライブラリに読み込むか尋ねるダイアログが表示されたら、「いいえ」をクリックし、iTunes を閉じます。（後からブックを iTunes ライブラリに追加するタイミングがあります）
- 5 プルダウンメニューからソースディスクを選択します。作成する情報の概要が内容領域に表示されます。
- 6 オプション領域で、希望するオーディオ品質と再生速度を選択します。ステレオをモノに変換するオプションも使用可能です。
- 7 赤の「変換」ボタンをクリックします。
- 8 ファイルの名前を入力し、保存先を選択します。変換ドロップダウンリストで希望するフォーマットを選択します。必要に応じて、「iTunes ライブラリに追加」チェックボックスを選択します。
- 9 「保存」をクリックして、ディスクの変換を開始します。
- 10 ダイアログが表示されたら、次のディスクを挿入します。最後のディスクが変換されたら、「完了」をクリックします。
- 11 iTunes にファイルを追加した場合は、iTunes Books ライブラリに表示されます。

索引

英字

AAC

ファイル、オーディオディスクに追加 91

AIFF

ファイル、オーディオディスクに追加 91

Android

Android での再生用にビデオを変換する 118

AppleTV

再生用にビデオを変換する 118

AVCHD アーカイブ

作成 52

AVCHD アーカイブの作成 52

AVCHD アーカイブディスク

説明 25

AVI ファイル

ビデオディスクに追加 26

BDMV フォルダ

以下で作成された Blu-ray ディスクについて 25

BD-RE ディスク

Toast Dynamic Writing での書き込み 87

BlackBerry

再生用にビデオを変換する 118

Blu-ray ディスクメディア

説明 13

Blu-ray ビデオ

ディスク 25

Blu-ray ビデオディスク

説明 24

CD

書き込み 7

コピー 109

サポートされているフォーマット 10

比較 60

マルチセッション 69

CD TEXT オプション 92, 109

CD メディア

説明 12

DAO

説明 16

Dolby Digital 98

AC3 ファイル、オーディオディスクに追加 91

DV

ビデオカメラ、~からビデオをインポート 37

ファイル、ビデオディスクに

- 追加 26
- DVD**
 - 書き込み 7
 - コピー 109
 - サポートされているフォーマット 10
 - 比較 60
- DVD オーディオディスク**
 - 説明 96
- DVD メディア 12**
- DVD-ROM データディスク**
 - 説明 64
 - データディスク DVD-ROM データディスクも参照
- DVD-ROM ディスク**
 - 作成 80
- DVD-Video ディスク**
 - 作成 27
 - 説明 24
 - ビデオディスク DVD-Video ディスクも参照
- DVD-Video ディスクに ROM データを追加 41**
- Extras メニュー**
 - 説明 19
- FLAC**
 - ファイル、オーディオディスクに追加 91
- HDV**
 - ファイル、ビデオディスクに追加 26
- iPad**
 - 再生用にビデオを変換する 118
- iPhone**
 - 再生用にビデオを変換する 118
- Mac & PC データディスク**
 - 作成 75
 - 説明 64
 - 復旧 78
 - データディスク Mac & PC データディスクも参照
- Mac 専用データディスク**
 - 作成 68
 - 説明 64
 - 復旧 78
 - データディスク Mac 専用データディスクも参照
- Mac と PC のディスクイメージ**
 - 製作 112
- Mac ボリュームデータディスク**
 - 作成 83
 - 説明 65
 - データディスク Mac ボリュームデータディスクも参照
- MOV ファイル**
 - オーディオディスクに追加 91
 - ビデオディスクに追加 26
- MP3 ディスク**
 - 作成 102
 - 説明 90
 - オーディオディスク MP3 ディスクも参照
- MP3 ファイル**
 - オーディオディスクに追加 91
- MPEG-4**
 - ファイル、ビデオディスクに追加 26
- NTSC 45**
- NVIDIA 121**
- OGG**
 - ファイル、オーディオディスクに追加 91
- PAL 45**
- Palm Pre**
 - 再生用にビデオを変換する 118
- PC と Mac のディスクイメージ**

製作 112
Plug & Burn
使用 37
QuickTime
オーディオファイル、オーディオディスクに追加 91
ビデオファイル、ビデオディスクに追加 26
ROM データ
DVD-Video ディスクに追加 41
TAO
説明 16
Toast
インストール 2
説明 2
登録 2
プロジェクト、保存と開く 17
メインウインドウ 4
Toast Dynamic Writing
説明 87
TV 規格
変更 45
UDF ディスク
作成 80
VIDEO_TS フォルダ
～から DVD を作成 46
以下で作成された DVD について 24
VIDEO_TS コンピレーション
複数の VIDEO_TS フォルダからの作成について 24
VideoBoost 121
WAV ファイル
オーディオディスクに追加 91
Web ベースの共有サイトでビデオを共有する 118

あ

アイコン
カスタマイズ 71
アスペクト比 40
圧縮
ディスク 70
暗号化
ディスク 70
アンマウント
ディスクイメージファイル 60
イメージファイル
コピー 111
保存 58
マウント 59
インストール
Toast 2
インポート
ビデオ 37
ウインドウ
ディスク用の背景をカスタム化 72
表示をコントロール 61
エンコードオプション
オーディオ 44
ディスク 42
ビデオ 43
ビデオディスク 27
エンハンストオーディオ CD
オーディオディスクエンハンストオーディオ CD も参照
作成 103
説明 90
オーディオ CD
作成 92
説明 90
オーディオディスクオーディオ CD も参照

オーディオエンコードオプション

DVD 44

ミュージック DVD 98

オーディオ効果

ビデオファイルに追加 53

オーディオディスク

説明 90

作成 91

種類 90

オーディオブック

CD を変換する 124

オプション

ビデオディスク 39

オプション領域

説明 5

か

書き込み

ディスク 7

複数のレコーダに同時に 66

書き込みボタン

説明 6

カスタマイズ

ディスクアイコン 71

背景 72

ビデオ変換プロファイル 120

カスタムハイブリッドデータ

ディスク

説明 64

データディスクカスタムハイブリッドデータディスク
も参照

カスタムハイブリッドディスク

作成 81

カタログディスクオプション 17

切り取り

ビデオ 53

グラフィック

スライドショーの変更 32

ビデオの変更 34

プレイリストの変更 100

グラフィックスカード

VideoBoost のサポート 121

クロスフェード

説明 95

携帯電話

再生用にビデオを変換する
118

検索ボタン

説明 7

検証オプション 17

高解像度 DVD

ディスク 25

作成する 30

説明 24

高度な

レコーダ設定 16

コピー

ディスク 108

ディスクイメージファイル
111

コピーオプション 48

さ

再生

自動ディスク (オプション)
97

スライドショー 86

削除

削除も参照

スライドショー 32

スライドショーから写真を
32

トラック 95

ビデオ 34

ファイルとフォルダ 74

プレイリスト 99

作成

作成クリエイトを参照

作成する

Blu-ray ビデオディスク 27

DVD-ROM ディスク 80

DVD-Video ディスク 27

Mac & PC データディスク 75

Mac 専用データディスク 68

Mac ボリュームディスク 83

MP3 ディスク 102

VIDEO_TS からの DVD ビデオ
フォルダ 46

エンハンストオーディオ CD
103

オーディオディスク 91

カスタムハイブリッドディス
ク 81

カスタムビデオ変換プロファ
イル 120

写真ディスク 85

データディスク 65

テンポラリパーティション
61

ビデオディスク 25

フォルダ 73

ミックス モード CD 105

サポート

取得 2

シーンメニューオプション 41

時間

スライドショーの、変更 33

自動再生

有効 76

自動再生オプション

DVD 39

ビデオディスク 28

ミュージック DVD 97

シミュレーションオプション 17

写真

スライドショーから削除 32

スライドショーに追加 32

スライドショーの中の順番を
変える 32

ビデオディスクにコピー 39,
97

写真ディスク

作成 85

シャッフルオプション

DVD 41

ミュージック DVD 97

種類

データディスクの 64

消去

ディスク 18

スパニング

複数のディスク 77

スマートリストオプション

DVD 41

スライドショー

再生 86

処理 31

スライドメニューオプション 41

製品サポート

取得 2

セッションオプション 16

設定

カタログディスクコンテンツ
17

ビデオディスク 39

レコーダの表示 17

レコーダの変更 15

オーディオディスク

説明 90

ソフトウェア

インストール 2

要件 2

た

チャプターマーカー

設定 36

追加

写真をスライドショーに 32

追加ボタン

説明 7

データ

整理 73

ディスクに追加 39

データセット

比較 60

データディスク

作成 65

種類 64

説明 64

写真ディスクデータディスク
も参照

データのレイアウト

設定する 61

テープ

～からビデオをインポート
37

ディスク

～のコンテンツを整理 73

～用にアイコンをカスタム化
71

～用にウインドウ背景をカスタム化 72

圧縮 70

暗号化 70

サポートされているフォー
マット 10

写真をコピー 39, 97

消去 18

データを追加 39

同時に複数のディスクに書き
込む 66

名前をつける 68

比較 60

複数のディスクにスパニング
77

オーディオディスク、データ
ディスク、写真ディスク、
ビデオディスクディスク
も参照

ディスクアットワンス

説明 16

ディスクイメージ

マジ 112

ディスクイメージファイル

アンマウント 60

コピー 111

保存 58

マウント 59

テキスト

カスタムメニューテキスト色
40

テンポラリパーティション

作成 61

登録

Toast 2

トラック

クロスフェードをかける
95

処理 93

処理、プレイリストに 101
プレイリストの追加 100

トラックアットワンス

説明 16

トラック情報

表示と編集 95

ランジション

トラック間 95

トリミング

ビデオ 35

な

内容領域

説明 5

名前

ディスク 39, 68

名前の変更

ファイルとフォルダ 74

並べ替える

スライドショー 31

スライドショーの写真を 32

トラック 94

ビデオ 34

ファイルとフォルダ 73

プレイリスト 99

は

ハードウェア

要件 2

ハードディスク

比較 60

背景

カスタマイズ 72

カスタムメニュー 41

カスタムメニュー背景 40

ハイライトの色

ボタン 40

バッファアンダーランの防止

有効 16

非圧縮 PCM

エンコードフォーマット 98

比較

ファイルとフォルダ 60

ビデオ

カスタム変換プロファイルを作成する 120

処理 33

ビデオカメラからインポート 37

ビデオエンコードオプション 43

ビデオカメラ

～からビデオをインポート 37

ビデオディスク

作成 25

種類 24

設定 39

説明 24

ビデオの品質

設定 43

ビデオディスク 27

ビデオ変換

一時停止 122

再開 122

スケジュール設定 119

ビデオ変換の一時停止 / 再開

122

ビデオ変換をスケジュール設定

する 119

ビデオをアップロードする 118

表示

ディスク情報 58

トラック情報 95

開く

Toast プロジェクト 17

品質、ビデオ

ビデオディスク 27

ファイル

削除 74

整理 73

名前の変更 74

並べ替える 73

比較 60

フィルタボタン

説明 7

フォルダ

削除 74

作成 73
整理 73
名前の変更 74
並べ替える 73
比較 60

複数のディスク

スパニング 77
同時に複数のディスクに書き込む 66

複製

スライドショー 31
ビデオ 34
プレイリスト 99

復旧

データディスク 78

プレイリスト

処理 99

プレビュー

トラック 94

プロジェクト

保存と開く 17

プロファイル

カスタムビデオ変換プロファイルを作成する 120

変更

スライドショーの再生時間 33
トラック情報 95
レコーダ設定 15

編集

ビデオ 35, 53
ビデオファイルにオーディオ効果を追加 53
変更するを参照

ポーズ

トラックの間、調整 94

保存

Toast プロジェクト 17
ディスクイメージファイル 58

ボタン

ハイライトの色 40
メニューに表示される最大数 40

ボタンのテキスト

スライドショーの変更 32
ビデオの変更 34, 37
プレイリストの変更 100

ま

マーカー

チャプターを設定 36

マージ

ディスクイメージ 112

マルチセッションCD

ミックスモードCD

作成 105
説明 91
オーディオディスクミックスモードCDも参照

ミュージックDVD

作成 96
説明 90
オーディオディスクミュージックDVDも参照

メインウィンドウ 4

メディア

Blu-ray ディスク 13
CD 12
DVD 12

メディアの種類ボタン

説明 7

メディアブラウザ

使用 13
説明 6

メニュー

～のボタン数 40
カスタムテキスト色 40

カスタムの背景色 40

カスタム背景 41

メニュースタイル

DVD 40

ビデオディスク 28

ミュージック DVD 97

メニュータイトル 40

モード

シミュレーション 17

セッション 16

や

有効

検証 17

バッファアンダーランの防止
16

要件

ハードウェアとソフトウェア
2

容量インジケータ

説明 6

ら

ライブ画面キャプチャ 20

レコーダ

設定の変更 15

複数のレコーダに同時に書き
込む 66

連続再生オプション 97

DVD 39

法的な情報

Roxio® Toast® 14 Titanium ユーザーガイド

Copyright © 2015 Corel Corporation. All rights reserved.

Roxio, MyDVD, Toast, Toaster and CD ロゴおよび Corel は Corel Corporation およびその関連会社が所有する商標または登録商標です。その他の製品、フォント、会社名、ロゴは、商標またはそれぞれの会社の登録商標である可能性があります。

製品の仕様、価格、パッケージ、テクニカルサポート、情報（「仕様」）に関しては、リテール向けの英語版のみを参照してください。（他の言語版を含む）他のすべてのバージョンの仕様は変更になる場合があります。

本契約書に提供される情報は、明示的・黙示的、または法定の保証、条件、約束または提示なく、「現状」のまま提供されます。満足できる品質、適切性、特定目的に対する適合性、権利非侵害、互換性、安全性、正確性に対する暗黙の保証も含め、またこれらに限定されず、（法律で認められる最大限の範囲において）一切保証されません。提供される情報またはその使用の結果に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。COREL は、あなたまたはその他の個人あるいは企業実体に対し、収入や利益の損失、データの紛失や破損、商業的または経済的損失を含むがそれに限定することなく、および COREL が、そのような損害の可能性について知らされていたり、それが予測可能な場合であってもいかなる間接的、偶発的、特別、派生的損害について何ら責任を負わないものとします。Corel はまた、任意の第三者からの訴訟についての責任を負いません。Corel の賠償責任の限度額は法令に定める最低責任限度額となります。一部の州 / 国では必然的または偶発的損害に対する責任の制限を認めていないため、上記の制限は適用されない場合があります。

Corel Corporation との事前の合意および書面による許可なしに、このマニュアルの全部または一部を複製、複写、転載、翻訳、あるいは電子媒体または機械読み取りの可能な媒体に変換してはなりません。

免責事項

本製品はコピー保護を迂回したり、回避することはできません。本製品では、CSS により暗号化されたり、その他のコピー保護されたコンテンツを含む DVD のコピーはできません。本製品によりコンテンツのコピーが可能な場合は、自ら著作権を有するか、著作権の所有者からコピーする許可を取得するか、当該コピーを行う正当な法的権利を有する場合に限り、コピーすることができます。著作権の所有者でなかったり、著作権の所有者からコピーする権利を取得していない場合は、著作権法やその他の法律の違反し、損害に対する請求や刑事罰の対象となる可能性があります。本製品の不法な使用は、厳しく禁じられています。自分の権利に対して不確かな場合は、法律の専門家にお問い合わせください。本製品の合法的で責任のある使用については、ユーザーが全責任を負うものとします。